
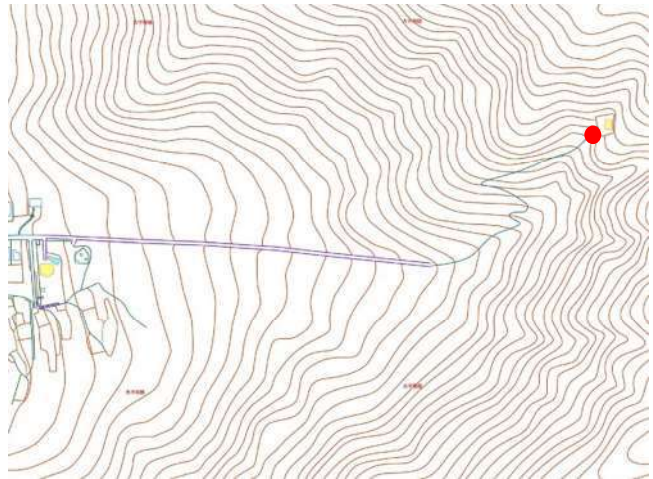

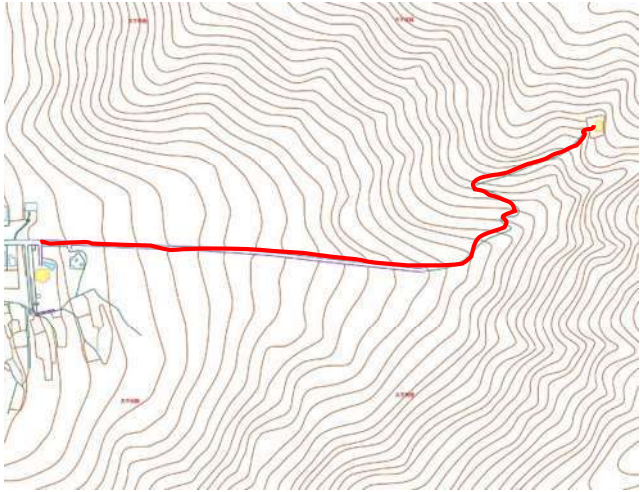



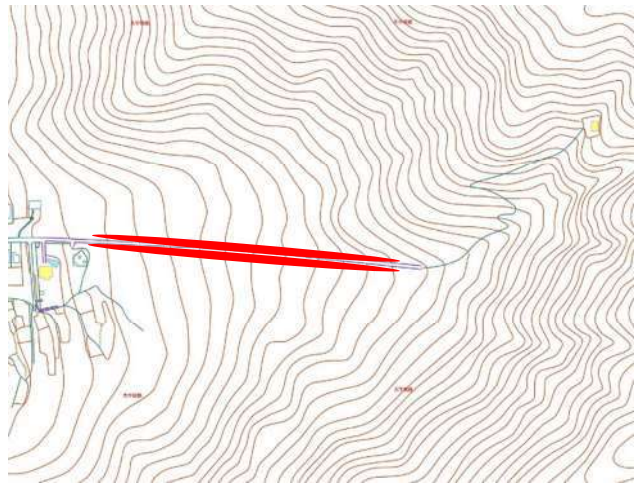
重要な構成要素の個票

| | | | |
|--|---|--|--|
| 番号 | A-1 | 指定等 | |
| 名称 | 愛染岩 | | |
| 所在地 | 飯山市大字瑞穂 | | |
| 所有者 | 宗教法人 | | |
| 保存対象 | ・ 建造物の位置、規模、形態、材料 | | |
| 現状変更及び保存に影響を及ぼす行為 | ・ 建造物の位置及び規模、形態、材料の変更、増改築（内容により判断されるもの） | | |
| 概要・価値 | | | |
| <p>小菅神社奥社参道中腹の山側に岩壁がそそり立つ。2本のスギの大木の間にしめ縄が張られ、その先の岩のたもとに愛染宮が祀られている。自然木によって結界され、岩のたもとは平らに整地されていることから小規模な堂社があった可能性も指摘される。古絵図にも描かれており小菅の信仰を知るうえで重要である。</p> | | | |
| 写真 | | 位置図 | |
|  | |  | |


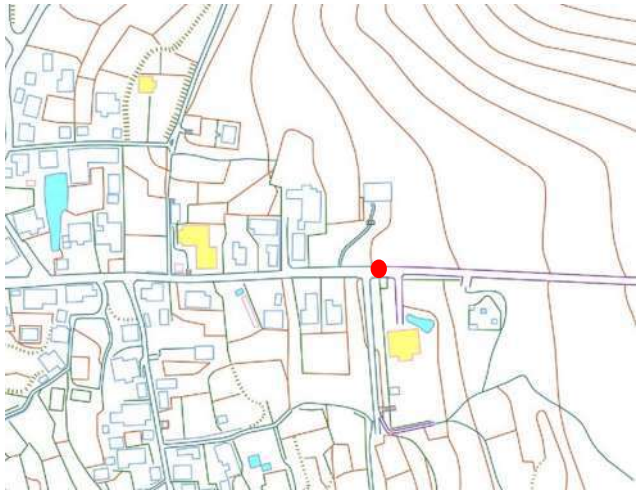
| | | | |
|--|---|--|-------|
| 番号 | A-2 | 指定等 | 重要文化財 |
| 名称 | 小菅神社奥社本殿 | | |
| 所在地 | 飯山市大字瑞穂 | | |
| 所有者 | 宗教法人 | | |
| 保存対象 | ・ 建造物の位置、規模、形態、材料 | | |
| 現状変更及び保存に影響を及ぼす行為 | ・ 建造物の位置及び規模、形態、材料の変更、増改築（内容により判断されるもの） | | |
| 概要・価値 | | | |
| <p>小菅山山腹、標高約 840m の岩陰に建てられた懸造りの社である。白鳳 8（679）年、修験道の開祖・役小角が岩窟内に八所権現の宮殿を建てたのが始まりと伝えられる。本殿の造営に関して明確な記録はないが、天正 19（1591）年に大修理を行ったと記録されており、以降現在に至るまでに幾度か修理が行われている。</p> <p>本殿内には 3 基の宮殿があり、うち 2 基は室町時代の作とされ、奥社本殿とともに重要文化財に指定されている。内陣には小菅信仰の根源とされる「甘露池」とよばれる湧水がある。修験の地小菅の信仰を伝える重要な宗教建築である。</p> | | | |
| 写真 | | 位置図 | |
|  | |  | |

| | | | |
|--|---|---|--|
| 番号 | A-3 | 指定等 | |
| 名称 | オカリヤ | | |
| 所在地 | 飯山市大字瑞穂 | | |
| 所有者 | 宗教法人 | | |
| 保存対象 | ・ 建造物の位置、規模、形態、材料 | | |
| 現状変更及び保存に影響を及ぼす行為 | ・ 建造物の位置及び規模、形態、材料の変更、増改築（内容により判断されるもの） | | |
| 概要・価値 | | | |
| <p>江戸時代は御供所、明治時代は神饌所であったとされる。小菅の柱松行事の奥社祭（松神子祈願祭）では、2人の松神子が奥社本殿に籠るが、かつてはオカリヤに籠った。現在は資材置き場として利用されているが、板間の中央には囲炉裏が残されている。小菅の信仰を示す重要な建造物である。</p> | | | |
| 写真 | | 位置図 | |
|  | |  | |


| | | | |
|---|--|--|-----|
| 番号 | A-4 | 指定等 | 市史跡 |
| 名称 | 奥社参道（三の鳥居～奥社） | | |
| 所在地 | 飯山市大字瑞穂 | | |
| 所有者 | 宗教法人 | | |
| 保存対象 | <ul style="list-style-type: none"> ・参道の位置 ・石段・石畳の位置 | | |
| 現状変更及び保存に影響を及ぼす行為 | <ul style="list-style-type: none"> ・道筋の変更 ・石段・石畳の改変・工作物の設置 | | |
| 概要・価値 | | | |
| <p>三の鳥居から小菅神社奥社本殿までの1.2 kmの参道。中間地点でスギ並木が途切れ、奥社まではつづら折りの坂道となる。奥社目の岩場はかなりの急斜面になっている。参道沿いには信仰的な呼称や云われをもつ巨石が点在する。険しい修行の道を今に伝える参道として重要である。</p> | | | |
| 写真 | | 位置図 | |
|  | |  | |

| | | | |
|--|------------|--|--------|
| 番号 | A-5 | 指定等 | 県天然記念物 |
| 名称 | 奥社参道のスギ並木 | | |
| 所在地 | 飯山市大字瑞穂 | | |
| 所有者 | 宗教法人 | | |
| 保存対象 | ・ 杉並木の空間 | | |
| 現状変更及び保存に影響を及ぼす行為 | ・ 樹木の伐採、伐根 | | |
| 概要・価値 | | | |
| <p>三の鳥居から奥社へ向かう参道沿い約 600m、約 180 本の並木が更新されながら維持されている。樹齢約 300 年と推定される大木もある。かつては二の鳥居からスギなどの並木が続いていたことが江戸時代に描かれた古絵図「信濃国高井郡小菅山絵図」（延享 3 年作成）からうかがえる。参道沿いに鎮座する蝦蟇石から太鼓橋にかけても並木があり、奥社までの道のりの神聖な景観を形成している。</p> | | | |
| 写真 | | 位置図 | |
|  | |  | |

| | | | |
|---|----------------|--|--|
| 番号 | A-6 | 指定等 | |
| 名称 | 奥社参道の巨石群 | | |
| 所在地 | 飯山市大字瑞穂 | | |
| 所有者 | 宗教法人 | | |
| 保存対象 | ・巨石・石造物が点在する空間 | | |
| 現状変更及び保存に影響を及ぼす行為 | ・巨石・石造物の移設、除去 | | |
| 概要・価値 | | | |
| <p>奥社参道沿いにはたくさんの石や岩（鏡石・隠れ石・御座石・船石・蝦蟇石・賽の河原・太鼓橋・弘法の投げ筆・不動岩・築根岩・鏡石）が並ぶ。弘法大師や上杉謙信にまつわる伝説をもつものもある。</p> <p>参道沿いの巨石群は磐座として信仰されており、奥社本殿へと続く神聖な空間を形成している。</p> | | | |
| 写真 | | 位置図 | |
|  <p style="text-align: center;">鏡石</p> | |  | |




| | | | |
|---|---|--|--|
| 番号 | B-1 | 指定等 | |
| 名称 | 三の鳥居 | | |
| 所在地 | 飯山市大字瑞穂 | | |
| 所有者 | 宗教法人 | | |
| 保存対象 | ・ 建造物の位置、規模、形態、材料 | | |
| 現状変更及び保存に影響を及ぼす行為 | ・ 建造物の位置及び規模、形態、材料の変更、増改築（内容により判断されるもの） | | |
| 概要・価値 | | | |
| <p>集落の最上部、奥社参道の入り口に建つ。建立年は不明である。額束の文字にはヤタガラスが確認でき、神仏混合の地であることを示す重要な建造物である。</p> | | | |
| 写真 | | 位置図 | |
|  | |  | |


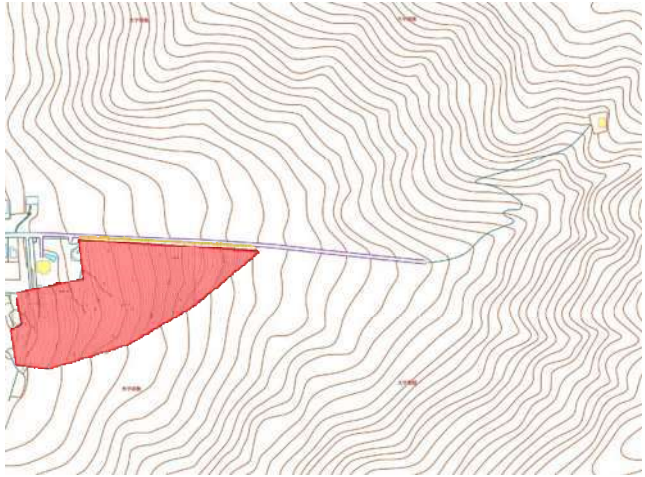
| | | | |
|--|---|--|------|
| 番号 | B-2 | 指定等 | 長野県宝 |
| 名称 | 護摩堂 | | |
| 所在地 | 飯山市大字瑞穂 | | |
| 所有者 | 小菅区・宗教法人 | | |
| 保存対象 | ・ 建造物の位置、規模、形態、材料 | | |
| 現状変更及び保存に影響を及ぼす行為 | ・ 建造物の位置及び規模、形態、材料の変更、増改築（内容により判断されるもの） | | |
| 概要・価値 | | | |
| <p>寛延3（1750）年建立。修験霊場として知られる小菅山の歴史を伝える修験信仰の建築遺構として象徴的な建造物である。</p> <p>現在、護摩を修する場としての利用はされていないが、小菅の柱松行事においては行列の出発点、神事が執り行われる場として重要な意味を持つ。全国的にも稀有な7間堂の規模と、卓越した彫刻等で装飾された護摩堂は小菅の隆盛を物語る。令和4（2022）年、2年間にかけて行われた大修理が竣工した。</p> | | | |
| 写真 | | 位置図 | |
|  | |  | |


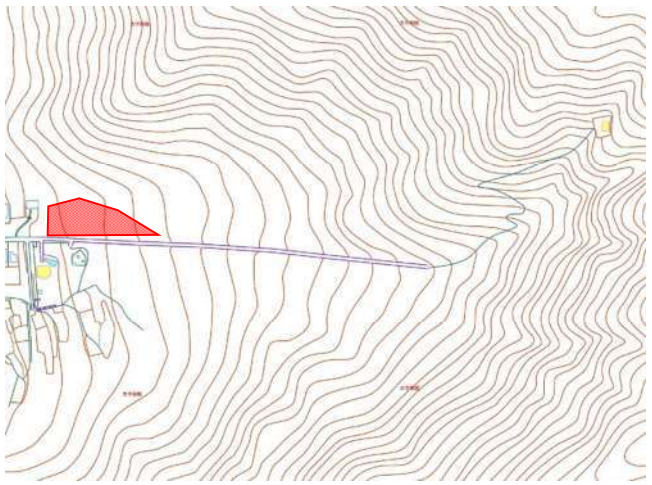
| | | | |
|---|--|-----|-----|
| 番号 | B-3 | 指定等 | 市史跡 |
| 名称 | 大聖院跡 | | |
| 所在地 | 飯山市大字瑞穂 | | |
| 所有者 | 小菅区 | | |
| 保存対象 | <ul style="list-style-type: none"> ・遺構 ・石造物 | | |
| 現状変更及び保存に影響を及ぼす行為 | <ul style="list-style-type: none"> ・土地の掘削、盛土、切土 ・石造物の移設、除去 | | |
| 概要・価値 | | | |
| <p>大聖院は元隆寺別当で、小菅山信仰の中心をなす寺院であった。西側には近世に造成された梅鉢積み の石垣や土留擁壁がある。明治2（1869）年、神仏分離令により廃絶となり神式に改められ、昭和 時代には建物も取り壊された。</p> <p>発掘調査により礎石が検出され、建物の規模が確認された。現在は礎石と間取りを示し、遺跡保存 を行なっている。小菅山信仰の中核であった大聖院跡は中・近世の小菅修験を理解するうえで重要な 場所である。</p> | | | |
| 写真 | 位置図 | | |
|  |  | | |


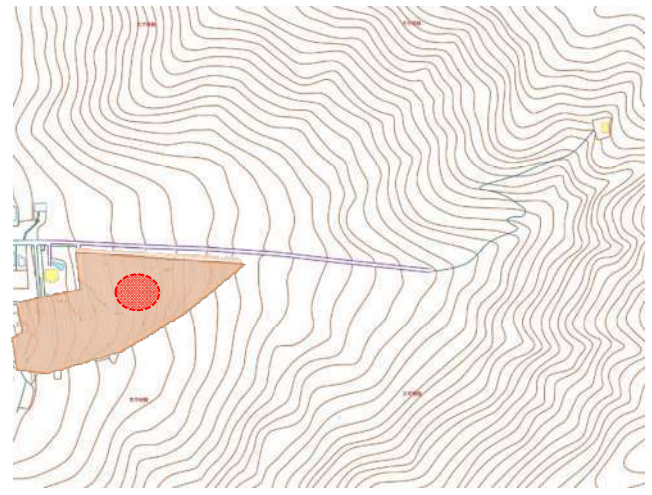
| | | | |
|--|--|-----|--|
| 番号 | B-4 | 指定等 | |
| 名称 | 大聖院の庭園 | | |
| 所在地 | 飯山市大字瑞穂 | | |
| 所有者 | 小菅区 | | |
| 保存対象 | ・池と庭木と庭石の空間 | | |
| 現状変更及び保存に影響を及ぼす行為 | <ul style="list-style-type: none"> ・池の位置、形状、護岸、水路の変更 ・庭木の伐採、伐根 ・庭石の移設 | | |
| 概要・価値 | | | |
| <p>大聖院跡地にある庭園。池は南北約28m、東西約15m、護岸には自然石がめぐらされ、清水がたたえられている。北東に設えられた滝口からは滝が落ち、その対岸には滝を拝むためと推定される礼拝石が置かれている。集落で最も古く大きな庭園である。大聖院の栄華を伝える庭園として重要である。</p> | | | |
| 写真 | 位置図 | | |
|  |  | | |

| | | | |
|---|------------|---|--|
| 番号 | B-5 | 指定等 | |
| 名称 | 大聖院の墓地 | | |
| 所在地 | 飯山市大字瑞穂 | | |
| 所有者 | 個人 | | |
| 保存対象 | ・石造物 | | |
| 現状変更及び保存に影響を及ぼす行為 | ・石造物の移設、除去 | | |
| 概要・価値 | | | |
| <p>大聖院の歴代住職の墓が集まる墓地。大聖院中興・神袋坊（しんたいぼう）からの14代の墓石が並び、多くが無縫塔である。隆盛を極めた大聖院の歴史を今に伝えるうえで重要である。</p> | | | |
| 写真 | | 位置図 | |
|  | |  | |

| | | | |
|---|--------------|--|--|
| 番号 | B-6 | 指定等 | |
| 名称 | カヤキリ堂跡・旧観音堂跡 | | |
| 所在地 | 飯山市大字瑞穂 | | |
| 所有者 | 宗教法人 | | |
| 保存対象 | ・遺構 | | |
| 現状変更及び保存に影響を及ぼす行為 | ・土地の掘削、盛土、切土 | | |
| 概要・価値 | | | |
| <p>カヤキリ堂跡及び旧観音堂跡は、かつて観音堂があったとされる地である。カヤキリ堂は小菅山中腹にあり、最初の観音堂の地と伝えられる。カヤキリ堂からやや下った場所にある旧観音堂は、石垣で区画された平場であり、発掘調査の結果、現観音堂と同規模の建物の礎石が検出された。</p> <p>平安時代に制作された本尊「馬頭観世音菩薩坐像」（長野県宝）はカヤキリ堂の本尊とされ、また小菅に伝えられている「板絵著色観音三十三身図」も観音堂所蔵であったとされる。観音堂の変遷を示す遺構として重要である。</p> | | | |
| 写真 | | 位置図 | |
|  <p>カヤキリ堂跡</p>  <p>旧観音堂跡</p> | |  | |

| | | | |
|--|--------------|--|--|
| 番号 | B-7 | 指定等 | |
| 名称 | 奥社参道南遺構群 | | |
| 所在地 | 飯山市大字瑞穂 | | |
| 所有者 | 個人 | | |
| 保存対象 | ・遺構 | | |
| 現状変更及び保存に影響を及ぼす行為 | ・土地の掘削、盛土、切土 | | |
| 概要・価値 | | | |
| <p>奥社参道の南側に広がる遺構群。神戸区と小菅区を結ぶ風切峠からカヤキリ堂跡を結ぶ軸線上に展開しており、この軸線の西南に位置する斑尾山信仰を示唆する。石垣と平場の空間が多数残されており、中世の造成と考えられる石垣もみられる。要所や遺構の際限には巨石が配置されている。踏査の結果、平場の間には道と石組みの水路が通っていることが確認された。遺構の下方は江戸時代には田畑として利用され、一部は現在も水田として利用されていた。霊場小菅の歴史・規模を示すうえで重要である。</p> | | | |
| 写真 | | 位置図 | |
|  | |  | |


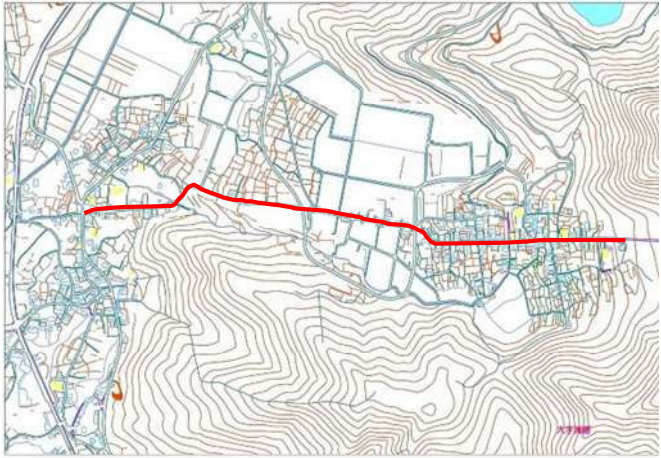
| | | | |
|---|--------------|---|--|
| 番号 | B-8 | 指定等 | |
| 名称 | 奥社参道北遺構群 | | |
| 所在地 | 飯山市大字瑞穂 | | |
| 所有者 | 個人 | | |
| 保存対象 | ・遺構 | | |
| 現状変更及び保存に影響を及ぼす行為 | ・土地の掘削、盛土、切土 | | |
| 概要・価値 | | | |
| <p>奥社参道の北側に広がる遺構群。石垣と平場が残されている。旧八幡社跡とされる基壇もみられ、花清水をはじめ豊富な水流がみられる。遺構の際限には巨石が配置されている。霊場小菅の歴史・規模を示すうえで重要である。</p> | | | |
| 写真 | | 位置図 | |
|  | |  | |

| | | | |
|--|------------|---|--|
| 番号 | B-9 | 指定等 | |
| 名称 | 炭窯 | | |
| 所在地 | 飯山市大字瑞穂 | | |
| 所有者 | 個人 | | |
| 保存対象 | ・石造物 | | |
| 現状変更及び保存に影響を及ぼす行為 | ・石造物の移設、撤去 | | |
| 概要・価値 | | | |
| <p>参道南遺構群内には巨石を利用した炭窯が点在する。昭和 50 年頃まで集落で炭焼きが行なわれていた。小菅の生活・生業を示す遺構として重要である。</p> | | | |
| 写真 | | 位置図 | |
|  | |  | |



| | | | |
|---|---|--|--|
| 番号 | C-1 | 指定等 | |
| 名称 | 風切峠 | | |
| 所在地 | 飯山市大字瑞穂 | | |
| 所有者 | 飯山市 | | |
| 保存対象 | ・道筋の位置、規模 | | |
| 現状変更及び保存に影響を及ぼす行為 | <ul style="list-style-type: none"> ・道筋の位置、規模の変更 ・工作物の設置 | | |
| 概要・価値 | | | |
| <p>神戸区と小菅区を結ぶ、小菅山元隆寺南入り口の道筋である神戸道にある峠。神戸集落から風切峠を越えて小菅集落に入ると桂清水に至り、さらに大聖院上の参道南遺構群にまで及ぶ旧参道と考えられる。小菅の柱松行事で使われる火打石はここで採取される。この参道は小菅区と神戸区により、刈り払いが行なわれ維持されている。信仰の歴史街道として重要である。</p> | | | |
| 写真 | | 位置図 | |
|  | |  | |

| | | | |
|---|--------------|--|--|
| 番号 | C-2 | 指定等 | |
| 名称 | 神戸の遺構群 | | |
| 所在地 | 飯山市大字瑞穂 | | |
| 所有者 | 個人 | | |
| 保存対象 | ・遺構 | | |
| 現状変更及び保存に影響を及ぼす行為 | ・土地の掘削、盛土、切土 | | |
| 概要・価値 | | | |
| <p>小菅山元隆寺下ノ院のひとつ、「良蔵坊跡」と推測される石垣遺構が残されている。ここから風切峠を越え、小菅の参道南遺構群までつなぐと考えられる。この遺跡の門前にはイチヨウの大木がある。元隆寺寺域の規模を示す重要な遺構である。</p> | | | |
| 写真 | | 位置図 | |
|  | |  | |

| | | | |
|---|-----------|--|----------|
| 番号 | C-3 | 指定等 | 長野県天然記念物 |
| 名称 | 神戸のイチヨウ | | |
| 所在地 | 飯山市大字瑞穂 | | |
| 所有者 | 神戸区 | | |
| 保存対象 | ・樹木 | | |
| 現状変更及び保存に影響を及ぼす行為 | ・樹木の伐採、伐根 | | |
| 概要・価値 | | | |
| <p>中世小菅山元隆寺域内の「良蔵坊」門前の木と伝えられている。秋葉三尺坊という人物が良蔵坊の主となった際に、このイチヨウを植えたという伝説がある。イチヨウは火伏せの信仰対象として神社などに植えられるが、この木も銀杏三宝大荒神の御神木と考えられており、イチヨウの前には三宝荒神の石祠が祀られている。また、このイチヨウは乳房様の気根を持ち、母乳の出を良くするという伝説のもと、絵馬や人形を供えて願掛けが行われるなど、民間信仰の対象樹木として重要である。</p> | | | |
| 写真 | | 位置図 | |
|  | |  | |

| | | | |
|--|----------------------|--|--|
| 番号 | C-4 | 指定等 | |
| 名称 | 参道（二の鳥居～三の鳥居） | | |
| 所在地 | 飯山市大字瑞穂 | | |
| 所有者 | 飯山市 | | |
| 保存対象 | ・路線の位置、規模 | | |
| 現状変更及び保存に影響を及ぼす行為 | ・路線、規模の変更 ・工作物の設置 | | |
| 概要・価値 | | | |
| <p>中近世以降期に再構成された空間を形成する直線性が際立つ軸線。二の鳥居をくぐって急峻な道へのぼり、小菅集落の入り口、仁王門に至る。さらに集落の中心を直進し、集落が途切れる奥社参道入り口（三の鳥居）へと続く。仁王門から三の鳥居までは「カイド」と称され、集落の主幹道路になっている。三の鳥居から西方を望むと妙高山が聳えており、霊山妙高を意識した霊场景観を強調する。霊場の中心参道として重要である。</p> | | | |
| 写真 | | 位置図 | |
|  | |  | |

| | | | |
|--|---|--|--|
| 番号 | C-5 | 指定等 | |
| 名称 | 前坂道（前坂～越処～十王堂跡） | | |
| 所在地 | 飯山市大字瑞穂 | | |
| 所有者 | 飯山市 | | |
| 保存対象 | ・道筋の位置、規模 | | |
| 現状変更及び保存に影響を及ぼす行為 | <ul style="list-style-type: none"> ・道筋の位置、規模の変更 ・工作物の設置 | | |
| 概要・価値 | | | |
| <p>野沢温泉村前坂から小菅に至る北口の道筋。地元では「前坂コエンド」とよばれる。前坂から北竜湖東側を通り、北竜湖との間の尾根越しの峠（地元では越処（コエンド）とよばれる）を越えて小菅に至る。雪解け水を北竜湖に集める内山用水や、共同墓地へ続く道でもある。入り口に石仏が配置されている。小菅に至る北の参道として重要である。</p> | | | |
| 写真 | | 位置図 | |
|  | |  | |


| | | | |
|---|-------------------------|--|--|
| 番号 | C-6 | 指定等 | |
| 名称 | 神戸道（十王堂跡～桂清水～神戸） | | |
| 所在地 | 飯山市大字瑞穂 | | |
| 所有者 | 飯山市 | | |
| 保存対象 | ・路線の位置、規模 | | |
| 現状変更及び保存に影響を及ぼす行為 | ・路線の位置、規模の変更 ・工作物の設置 | | |
| 概要・価値 | | | |
| <p>小菅区と神戸方面を結ぶ南北の軸線で、カイドに直角をなす。里宮の建造物（鳥居、石段）はこの南北軸に規定されている。永禄九年絵図にはこの軸線のすぐ東に南大門・中門・金堂・講堂が描かれており、すべて南北軸に従う配置となっている。里宮を中心とする霊場空間をつなぐ重要な軸線である。</p> | | | |
| 写真 | | 位置図 | |
|  | |  | |

| | | | |
|---|------------|--|--|
| 番号 | C-7 | 指定等 | |
| 名称 | 風切峠の石造文化財群 | | |
| 所在地 | 飯山市大字瑞穂 | | |
| 所有者 | 飯山市・小菅区 | | |
| 保存対象 | ・石造物 | | |
| 現状変更及び保存に影響を及ぼす行為 | ・石造物の移設、除去 | | |
| 概要・価値 | | | |
| <p>風切峠の中腹に並ぶ石造物群。江戸～明治時代の巡拝塔のほか、馬頭観音菩薩など 15 基がある。廃仏毀釈を受けて頭部を欠く仏像もあり、その歴史を今に伝える。村の守護として、住民により守られてきた重要な石造物群である。</p> | | | |
| 写真 | | 位置図 | |
|  | |  | |

| | | | |
|--|---------------|--|--|
| 番号 | C-8 | 指定等 | |
| 名称 | 三の鳥居周辺の石造文化財群 | | |
| 所在地 | 飯山市大字瑞穂 | | |
| 所有者 | 小菅区 | | |
| 保存対象 | ・石造物 | | |
| 現状変更及び保存に影響を及ぼす行為 | ・石造物の移設、除去 | | |
| 概要・価値 | | | |
| <p>三の鳥居の手前には、源頼朝が小菅神社に参拝の折に建立させたという伝説がのこる下馬碑がある。奥社参道のスギ並木入り口周辺には不動明王、芭蕉句碑、梵字の石碑などがある。集落の人々によって伝えられてきた重要な石造物群である。</p> | | | |
| 写真 | | 位置図 | |
|  | |  | |

| | | | |
|---|------------|--|--|
| 番号 | C-9 | 指定等 | |
| 名称 | 追分石造文化財群 | | |
| 所在地 | 飯山市大字瑞穂 | | |
| 所有者 | 小菅区 | | |
| 保存対象 | ・石造物 | | |
| 現状変更及び保存に影響を及ぼす行為 | ・石造物の移設、除去 | | |
| 概要・価値 | | | |
| <p>小菅集落の入り口に並ぶ石造物群。かつては仁王門下の北側にあったが、道路改良に伴って現在地に移転された。延宝2（1674）年建立の庚申塔をはじめ、句碑など9基がある。この石造群の西側の分岐点には、「右いちご（越後）道、左ぜん光（善光）道」と刻まれた道標の石碑が建てられている。民間信仰を伝える重要な石造物群である。</p> | | | |
| 写真 | | 位置図 | |
|  | |  | |

| | | | |
|---|--|--|--|
| 番号 | C-10 | 指定等 | |
| 名称 | 里宮参道と周辺の石造文化財群 | | |
| 所在地 | 飯山市大字瑞穂 | | |
| 所有者 | 宗教法人 | | |
| 保存対象 | <ul style="list-style-type: none"> ・石造物 ・建造物の位置、規模、形態、材料 | | |
| 現状変更及び保存に影響を及ぼす行為 | <ul style="list-style-type: none"> ・石造物の移設、除去 ・建造物の位置及び規模、形態、材料の変更、増改築（内容により判断されるもの） | | |
| 概要・価値 | | | |
| <p>里宮入り口には石灯籠、石段前に柿本人麻呂の万葉歌碑などがある。里宮の参道は急な石段であり、柱松行事ではこの参道の上から神輿を担ぎおろす。参道と周辺石造物群は里宮を構成する重要な構成要素である。</p> | | | |
| 写真 | | 位置図 | |
|  | |  | |

| | | | |
|--|------------------|--|--|
| 番号 | C-11 | 指定等 | |
| 名称 | 菩提院・観音堂周辺の石造文化財群 | | |
| 所在地 | 飯山市大字瑞穂 | | |
| 所有者 | 宗教法人 | | |
| 保存対象 | ・石造物 | | |
| 現状変更及び保存に影響を及ぼす行為 | ・石造物の移設、除去 | | |
| 概要・価値 | | | |
| <p>地蔵菩薩や如意輪観音菩薩、墓地には引導場の地蔵菩薩、掘り起こされた五輪塔が並ぶ。観音堂前の六地蔵はかつては講堂庭にあったものが移された。観音堂の入り口に並ぶ石仏には廃仏毀釈の影響を受け、損壊や着色がある。小菅の歴史を示す重要な石造物群である。</p> | | | |
| 写真 | | 位置図 | |
|  | |  | |


| | | | |
|---|-----------|--|--|
| 番号 | C-12 | 指定等 | |
| 名称 | 幟・大灯籠の沓石 | | |
| 所在地 | 飯山市大字瑞穂 | | |
| 所有者 | 飯山市・宗教法人 | | |
| 保存対象 | ・沓石の位置 | | |
| 現状変更及び保存に影響を及ぼす行為 | ・沓石の移設、撤去 | | |
| 概要・価値 | | | |
| <p>小菅の祭礼では、祭場となる講堂庭や集落の幹線道路（カイド）に、幟や吹き流し、大灯籠が建てられる。カイド沿いにはそれらを建てるための沓石が設置されている。かつて開催されていた「日市」には仮設の店小屋が建てられたことが分かっており、発掘調査により、小屋柱を差し込む石組柱穴が検出された。祭りに関わる沓石は小菅の非日常の景観を作り出す装置として重要な構成要素である。</p> | | | |
| 写真 | | 位置図 | |
|  | |  | |

| | | | |
|--|--|-----|--|
| 番号 | C-13 | 指定等 | |
| 名称 | 北竜湖 | | |
| 所在地 | 飯山市大字瑞穂 | | |
| 所有者 | 小菅区 | | |
| 保存対象 | ・湖の位置、形状、流路 | | |
| 現状変更及び保存に影響を及ぼす行為 | ・湖の位置、形状、流路の変更 | | |
| 概要・価値 | | | |
| <p>集落南北を横断する断層上にある断層湖。上の平用水と、内山用水から雪解け水を北竜湖に流して貯水し、北竜湖から小菅の集落下の農地に流している。北竜湖の水は小菅集落のため池として重要な役割を果たしている。また、断層由来の湖として、景観形成のうえでも重要である。</p> | | | |
| 写真 | 位置図 | | |
|  |  | | |


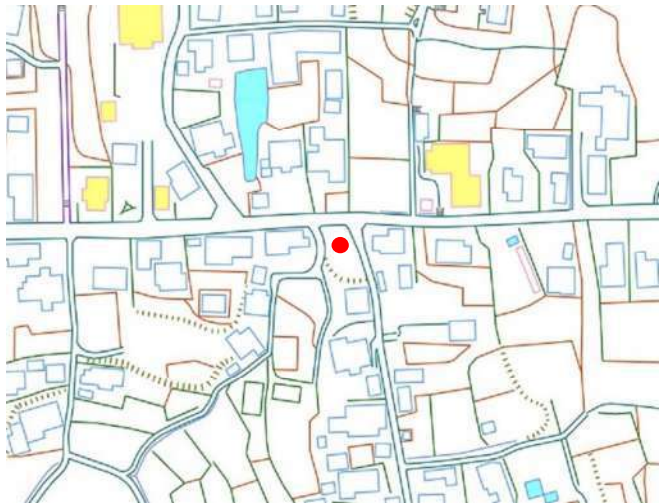
| | | | |
|---|----------------|--|--|
| 番号 | C-14 | 指定等 | |
| 名称 | 南龍池跡 | | |
| 所在地 | 飯山市大字瑞穂 | | |
| 所有者 | 個人 | | |
| 保存対象 | ・池の位置、形状、流路 | | |
| 現状変更及び保存に影響を及ぼす行為 | ・池の位置、形状、流路の変更 | | |
| 概要・価値 | | | |
| <p>集落南北を横断する断層上にある断層湖。南龍池跡は湿地となっており、昭和40年代までは稲作が行なわれていた。耕作廃棄地となったあとは自然観察園として整備されたが、現在は葦藪となっている。カワマスやイモリ、ドジョウなどが生息する。断層由来の池として、景観形成のうえでも重要である。</p> | | | |
| 写真 | | 位置図 | |
|  | |  | |


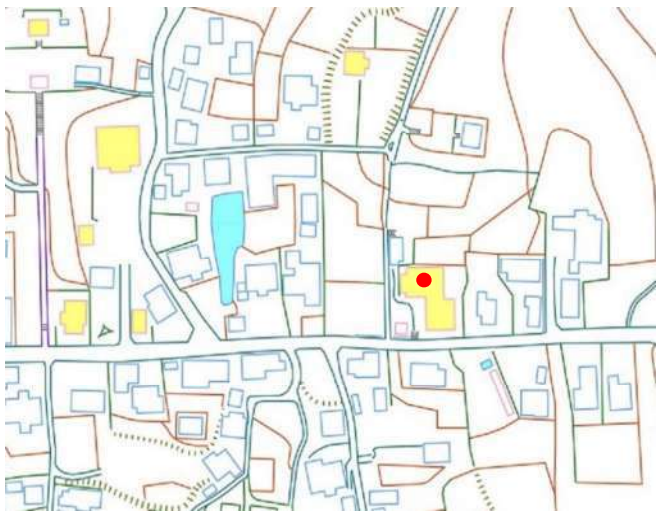
| | | | |
|--|--|-----|--|
| 番号 | C-15 | 指定等 | |
| 名称 | 蓮池 | | |
| 所在地 | 飯山市大字瑞穂 | | |
| 所有者 | 小菅区 | | |
| 保存対象 | ・池の位置、形状、流路 | | |
| 現状変更及び保存に影響を及ぼす行為 | ・池の位置、形状、流路の変更 | | |
| 概要・価値 | | | |
| <p>集落南北を横断する断層上にある断層湖。蓮池は一部道路として埋め立てられているが、弁財天の石碑が祀られている。池には蓮が植えられている。数年前まで防火水槽として利用されていた。断層由来の池として景観形成のうえでも重要である。</p> | | | |
| 写真 | 位置図 | | |
|  |  | | |


| | | | |
|---|---|--|--|
| 番号 | C-16 | 指定等 | |
| 名称 | 二の鳥居 | | |
| 所在地 | 飯山市大字瑞穂 | | |
| 所有者 | 宗教法人 | | |
| 保存対象 | ・ 建造物の位置、規模、形態、材料 | | |
| 現状変更及び保存に影響を及ぼす行為 | ・ 建造物の位置及び規模、形態、材料の変更、増改築（内容により判断されるもの） | | |
| 概要・価値 | | | |
| <p>関沢区に建ち、小菅区への入り口に位置する木造の大鳥居である。鳥居前には高速石工によって制作された石灯笼や狛犬、小菅神社の石柱が建立されている。小菅の参道入り口を示す重要な建造物である。</p> | | | |
| 写真 | | 位置図 | |
|  | |  | |


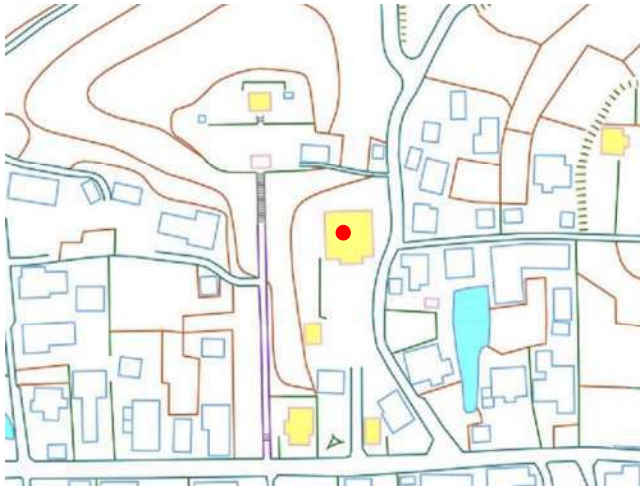
| | | | |
|---|--|-----|------|
| 番号 | C-17 | 指定等 | 長野県宝 |
| 名称 | 仁王門 | | |
| 所在地 | 飯山市大字瑞穂 | | |
| 所有者 | 宗教法人 | | |
| 保存対象 | ・ 建造物の位置、規模、形態、材料 | | |
| 現状変更及び保存に影響を及ぼす行為 | ・ 建造物の位置及び規模、形態、材料の変更、増改築（内容により判断されるもの） | | |
| 概要・価値 | | | |
| <p>小菅集落入り口に建つ。建築年代は不明だが、天和3（1683）年には建立されていたといわれる。金剛力士像が一對安置されている。現在の幹線道路は仁王門の南側を走っているが、本来の道は仁王門を通った。門を通るとすぐに悪霊・悪疫、敵の防御の役目を成すとされる石垣がある。霊場小菅の入り口として重要な建造物である。</p> | | | |
| 写真 | 位置図 | | |
|  |  | | |


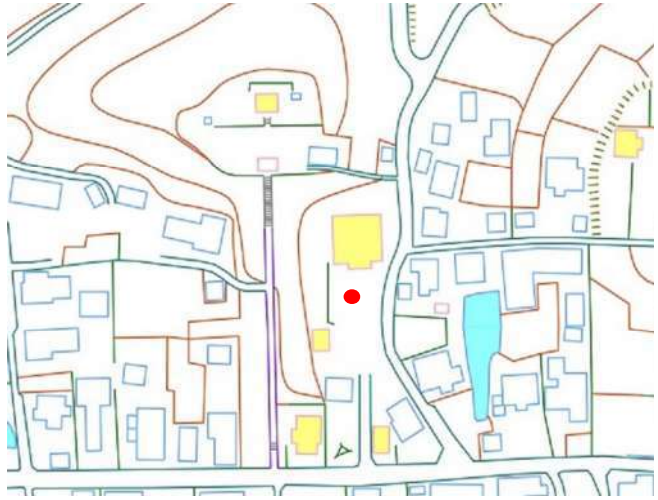
| | | | |
|---|---|--|--|
| 番号 | C-18 | 指定等 | |
| 名称 | 里宮 | | |
| 所在地 | 飯山市大字瑞穂 | | |
| 所有者 | 宗教法人 | | |
| 保存対象 | ・ 建造物の位置、規模、形態、材料 | | |
| 現状変更及び保存に影響を及ぼす行為 | ・ 建造物の位置及び規模、形態、材料の変更、増改築（内容により判断されるもの） | | |
| 概要・価値 | | | |
| <p>断層直上の山体崩壊による流山に祀られており、この場所に霊場を営む動機の一つとして注目される。敷地内には本殿・神楽殿・御輿殿がある。現在の本殿は万治3（1660）年に建てられた社殿を大正12（1923）年に再建したものである。里宮からは神戸方面への南北軸の参道が続いており、現講堂や、永禄九年絵図に描かれた一連の建物も南北軸に規定されていることから、里宮は軸線を中心であったと考えられる。小菅の歴史を理解するうえで重要である。</p> | | | |
| 写真 | | 位置図 | |
|  | |  | |


| | | | |
|---|---------|--|--|
| 番号 | C-19 | 指定等 | |
| 名称 | 十王堂跡 | | |
| 所在地 | 飯山市大字瑞穂 | | |
| 所有者 | 小菅区 | | |
| 保存対象 | ・敷地 | | |
| 現状変更及び保存に影響を及ぼす行為 | ・敷地の変更 | | |
| 概要・価値 | | | |
| <p>昭和 30 年頃までこの場所に十王堂があったとされる。十王堂の前は広場になっており、かつては子どもたちの遊び場であった。現在は駐車場になっている。堂内にあった仏像は、現在講堂の内陣に移されている。敷地の北西隅には柱松行事で最後に験比べの決着がつけられる「休石」がある。</p> <p>風切峠からの道（神戸道）が参道につきあたる辻に位置し、十王堂や道祖神は村の出入り口や辻に置かれることが広く確認されていることから、ここでも村の辻に十王堂があったことがうかがえる。小菅の信仰・民俗を伝える重要な場所である。</p> | | | |
| 写真 | | 位置図 | |
|  | |  | |



| | | | |
|---|---|---|--|
| 番号 | C-20 | 指定等 | |
| 名称 | 菩提院 | | |
| 所在地 | 飯山市大字瑞穂 | | |
| 所有者 | 宗教法人 | | |
| 保存対象 | ・ 建造物の位置、規模、形態、材料 | | |
| 現状変更及び保存に影響を及ぼす行為 | ・ 建造物の位置及び規模、形態、材料の変更、増改築（内容により判断されるもの） | | |
| 概要・価値 | | | |
| <p>菩提院の前身はかつての元隆寺坊院のひとつである桜本坊とされる。集落のなかにある寺院で、敷地内に本堂・客殿・鐘楼がある。廃仏毀釈後、大聖院の所持していた仏式什器が集められ、数々の仏教要素を伝える。集落の多くの住民の檀那寺でもあり、重要である。</p> | | | |
| 写真 | | 位置図 | |
|  | |  | |

| | | | |
|---|--|-----|--|
| 番号 | C-21 | 指定等 | |
| 名称 | 観音堂 | | |
| 所在地 | 飯山市大字瑞穂 | | |
| 所有者 | 宗教法人 | | |
| 保存対象 | ・ 建造物の位置、規模、形態、材料 | | |
| 現状変更及び保存に影響を及ぼす行為 | ・ 建造物の位置及び規模、形態、材料の変更、増改築（内容により判断されるもの） | | |
| 概要・価値 | | | |
| <p>小菅山八所大権現の本尊・馬頭観音を祀る。馬頭観音像は4体あり、最も古い1体は平安時代後期の制作と推定されており、小菅文化財収蔵庫にて保管されている。近世は小菅山中腹のカヤキリ堂跡にあったが、雪崩のためその下方の旧観音堂跡に移ったとされる。神仏分離令に伴って廃され、明治期に菩提院の管理する現在の敷地に移された。移築された建物は享保14(1729)年に建てられたといわれており、建物内部の壁面には、江戸時代小菅を訪れた参詣者の落書きが残っている。信濃三十三番霊場第十九番札所となっている。小菅の信仰を伝える重要な建造物である。</p> | | | |
| 写真 | 位置図 | | |
|  |  | | |



| | | | |
|---|---|--|------|
| 番号 | C-22 | 指定等 | 長野県宝 |
| 名称 | 講堂 | | |
| 所在地 | 飯山市大字瑞穂 | | |
| 所有者 | 小菅区・宗教法人 | | |
| 保存対象 | ・ 建造物の位置、規模、形態、材料 | | |
| 現状変更及び保存に影響を及ぼす行為 | ・ 建造物の位置及び規模、形態、材料の変更、増改築（内容により判断されるもの） | | |
| 概要・価値 | | | |
| <p>現建物は寛保元(1741)年に再建されたといわれる。内陣には阿弥陀如来坐像が安置される。明治期には一時学校として、昭和初期には公会堂として使用された。神仏分離による影響を受けず、仏像も建物も残され、近世から近代への連続性がみられる。「信州高井郡小菅山元隆寺之図」（永禄9年の銘あり）には講堂周辺の様子が詳細に描かれており、南大門・中門・金堂・講堂・鐘楼・食堂・荒神などの建物がみられる。内部にはまつり資料館が併設され、毎週日曜日は無料開放されている。神仏混合を示す重要な建造物である。</p> | | | |
| 写真 | | 位置図 | |
|  | |  | |



| | | | |
|--|---------|--|--|
| 番号 | C-23 | 指定等 | |
| 名称 | 講堂庭 | | |
| 所在地 | 飯山市大字瑞穂 | | |
| 所有者 | 宗教法人 | | |
| 保存対象 | ・敷地 | | |
| 現状変更及び保存に影響を及ぼす行為 | ・敷地の変更 | | |
| 概要・価値 | | | |
| <p>講堂前の広場で、柱松行事の際には柱松が建立され、神事が執り行われる場所である。近世の絵図史料には「堂庭」と記されている。柱松の材料や周辺集落からの物資もここに集められた。かつて祭りの際には講堂庭周辺に「市」が開かれ、仮設建物が建てられた。現公会堂もこの敷地内にあり、人々が集まる中心の場である。講堂庭の入り口には元治元（1864）年の刻銘がある市神の碑が建立されている。この場所は祭礼の時の市（馬市）が行なわれていた場所であり、市を見届ける市神様として祀られた。集落の中心広場として重要である。</p> | | | |
| 写真 | | 位置図 | |
|  | |  | |


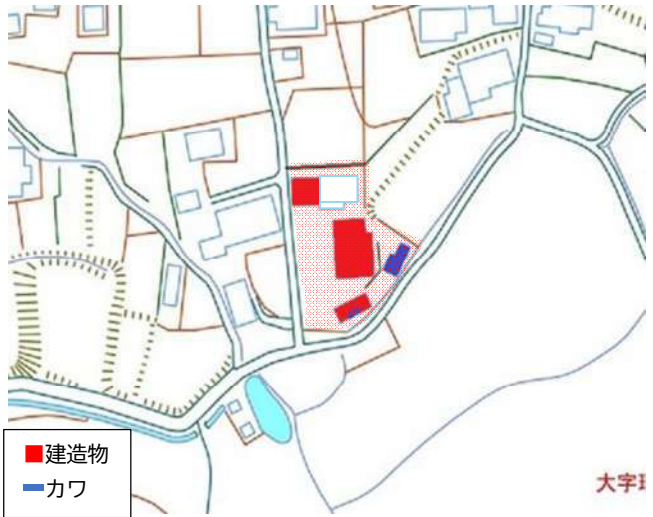
| | | | |
|---|--|-----|--|
| 番号 | C-24 | 指定等 | |
| 名称 | 御旅所 | | |
| 所在地 | 飯山市大字瑞穂 | | |
| 所有者 | 宗教法人 | | |
| 保存対象 | ・ 建造物の位置、規模、形態、材料 | | |
| 現状変更及び保存に影響を及ぼす行為 | ・ 建造物の位置及び規模、形態、材料の変更、増改築（内容により判断されるもの） | | |
| 概要・価値 | | | |
| <p>祭礼の際に神輿が本宮から渡御して仮にとどまるための建物。現建物は明治19(1886)年に再建されたものである。祭礼の際には柱と貫にソダを結び装飾される。小菅の信仰を示す重要な建造物である。</p> | | | |
| 写真 | 位置図 | | |
|  |  | | |

| | | | |
|--|---|-----|--|
| 番号 | C-25 | 指定等 | |
| 名称 | 集落の水田 | | |
| 所在地 | 飯山市大字瑞穂 | | |
| 所有者 | 個人 | | |
| 保存対象 | <ul style="list-style-type: none"> ・水田の位置、形状 ・石垣の位置、形状、構法、使用材料 ・水路の位置、形状、流路 | | |
| 現状変更及び保存に影響を及ぼす行為 | <ul style="list-style-type: none"> ・水田の位置、形状の変更 ・石垣の位置及び形状、構法、使用材料の変更 ・水路の位置及び形状、流路の変更 | | |
| 概要・価値 | | | |
| <p>耕作地は住宅地の周辺から山裾、さらに西側に広がる。傾斜地でありながら耕作に必要な水は水路を造成して巧みに引き込み、農作物を生産している。集落南の棚田のほとんどは石垣形態を残している。小菅山信仰に由来する地割を継承した耕作地の石垣、断層由来の湖沼や湧水等を有効に利用した水路が特徴的な農村景観を形成する。</p> | | | |
| 写真 | 位置図 | | |
|  |  | | |



| | | | |
|---|---|-----|--|
| 番号 | C-26 | 指定等 | |
| 名称 | N 家住宅（主屋） | | |
| 所在地 | 飯山市大字瑞穂 | | |
| 所有者 | 個人 | | |
| 保存対象 | <ul style="list-style-type: none"> ・石垣の位置、形状、構法、使用材料 ・建造物の位置、規模、形態、材料 | | |
| 現状変更及び保存に影響を及ぼす行為 | <ul style="list-style-type: none"> ・石垣の位置及び形状、構法、使用材料の変更 ・建造物の位置及び規模、形態、材料の変更、増改築（内容により判断されるもの） | | |
| <p>集落の最上部、集落の中央を貫くカイド沿いに位置する民家である。屋敷地の北側に主屋を構える。主屋は、屋根を寄棟造りの茅葺き（鉄板仮葺）とし、壁を真壁造りの土壁とした平入りで、正面を西側に向ける＜造りの典型Ⅰ＞。間取りは南西に位置する座敷前の縁側はかつてミセとしていたことが伝わり、小菅市に由来する非日常的な都市的景観も伝える。地域固有の民家として重要である。</p> | | | |
| 写真 | 位置図 | | |
|  |  | | |

| | | | |
|---|---|-----|--|
| 番号 | C-27 | 指定等 | |
| 名称 | Y家住宅（主屋・土蔵） | | |
| 所在地 | 飯山市大字瑞穂 | | |
| 所有者 | 個人 | | |
| 保存対象 | <ul style="list-style-type: none"> ・石垣の位置、形状、構法、使用材料 ・建造物の位置、規模、形態、材料 | | |
| 現状変更及び保存に影響を及ぼす行為 | <ul style="list-style-type: none"> ・石垣の位置及び形状、構法、使用材料の変更 ・建造物の位置及び規模、形態、材料の変更、増改築（内容により判断されるもの） | | |
| 概要・価値 | | | |
| <p>集落の中心、講堂のカイドを挟んで南側、集落の中央を貫くカイド沿いに位置する民家である。屋敷地の表側（北側）、カイドに寄った位置に主屋を構える。主屋は、屋根を寄棟造りの茅葺きとし、壁を真壁造りの土壁とした平入りで、正面を南側に向ける＜造りの典型Ⅰ＞。間取りは茶の間の横に、二間続きの座敷を設ける＜間取りの典型Ⅱ＞。カイド側の縁側は、かつてミセとしていたことが伝わり、小菅市に由来する非日常的な都市的景観も伝える。屋敷地の南奥側に土蔵を配する。地域固有の民家として重要である。</p> | | | |
| 写真 | 位置図 | | |
|  |  <p>■ 建造物 — 石垣</p> | | |

| | | | |
|---|---|-----|--|
| 番号 | C-28 | 指定等 | |
| 名称 | M家住宅（主屋・カワ） | | |
| 所在地 | 飯山市大字瑞穂 | | |
| 所有者 | 個人 | | |
| 保存対象 | <ul style="list-style-type: none"> ・石垣の位置、形状、構法、使用材料 ・水路又はカワ（池）の位置、形状、流路、護岸構造 ・建造物の位置、規模、形態、材料 | | |
| 現状変更及び保存に影響を及ぼす行為 | <ul style="list-style-type: none"> ・石垣の位置及び形状、構法、使用材料の変更 ・水路又はカワ（池）の位置及び形状、流路、護岸構造の変更 ・建造物の位置及び規模、形態、材料の変更、増改築（内容により判断されるもの） | | |
| 概要・価値 | | | |
| <p>集落の中心、里宮のすぐ西側、集落の中央を貫くカイド沿いに位置する民家である。屋敷地の表側（南側）、カイドに寄った位置に主屋を構える。主屋は、屋根を寄棟造りの茅葺き（鉄板仮葺）とし、壁を真壁造りの土壁とした平入りで、正面を西側に向ける〈造りの典型Ⅰ〉。間取りは発展した形式で、茶の間の横に、二間続きの座敷を設ける〈間取りの典型Ⅱ〉。間取りはのちの時代に改造して茶の間の前面に紙漉部屋を設けるなど、生業の展開をよく物語る。また、奥座敷のカイド側の縁側は、かつてミセとしていたことが伝わり、小菅市に由来する非日常的な都市的景観も伝える。主屋の前面および屋敷地の奥側に庭を設けており、北側の庭には水路を通し、カワ（池）を設ける。地域固有の民家として重要である。</p> | | | |
| 写真 | 位置図 | | |
|  |  | | |

| | | | |
|---|--|-----|--|
| 番号 | C-29 | 指定等 | |
| 名称 | K 家住宅（主屋・土蔵・小屋・カワ） | | |
| 所在地 | 飯山市大字瑞穂 | | |
| 所有者 | 個人 | | |
| 保存対象 | <ul style="list-style-type: none"> ・水路又はカワ（池）の位置、形状、流路、護岸構造 ・建造物の位置、規模、形態、材料 | | |
| 現状変更及び保存に影響を及ぼす行為 | <ul style="list-style-type: none"> ・水路又はカワ（池）の位置及び形状、流路、護岸構造の変更 ・建造物の位置及び規模、形態、材料の変更、増改築（内容により判断されるもの） | | |
| 概要・価値 | | | |
| <p>集落の南側、南龍池の辺りに位置する民家である。屋敷地の中央に主屋を構え、その西側に庭を配す。主屋は古く、小菅における最古級の民家建築として重要である。屋根を寄棟造りの茅葺き（鉄板仮葺）とし、壁を真壁造りの土壁とした平入りで、正面を西側に向ける<造りの典型Ⅰ>。間取りも古式をもとにしており、茶の間の横に、一間の座敷を設ける<間取りの典型Ⅰ>。座敷飾りもよくのこる。間取りはのちの時代に改造して茶の間の前面に紙漉部屋を設けるなど、生業の展開をよく物語る。主屋の北側に大規模な土蔵と物置を配し、南側に物置とそれに接続させて紙漉の作業小屋を配す。この作業小屋は大規模で、屋敷地の東から南にかけて流れる水路を引き込んで作業用の水槽をつくっており、生業の具体をよく伝えている。この水路に沿って二つのカワ（池）を設けており、特に主屋の裏のものは大きい。</p> | | | |
| 写真 | 位置図 | | |
|  |  | | |

| | | | |
|--|---|-----|--|
| 番号 | C-30 | 指定等 | |
| 名称 | I 家住宅（主屋・土蔵・小屋・カワ） | | |
| 所在地 | 飯山市大字瑞穂 | | |
| 所有者 | 個人 | | |
| 保存対象 | <ul style="list-style-type: none"> ・石垣の位置、形状、構法、使用材料 ・水路又はカワ（池）の位置、形状、流路、護岸構造 ・建造物の位置、規模、形態、材料 | | |
| 現状変更及び保存に影響を及ぼす行為 | <ul style="list-style-type: none"> ・石垣の位置及び形状、構法、使用材料の変更 ・水路又はカワ（池）の位置及び形状、流路、護岸構造の変更 ・建造物の位置及び規模、形態、材料の変更、増改築（内容により判断されるもの） | | |
| 概要・価値 | | | |
| <p>集落の南側、桂清水の辺りに位置する民家である。屋敷地の中央に主屋を構え、その南に庭を配す。屋根を寄棟造りの茅葺き（鉄板仮葺）とし、壁を真壁造りの土壁とした平入りで、正面を南側に向ける<造りの典型I>。間取りは茶の間の横に、一間の座敷を設ける<間取りの典型I>。主屋の南側に土蔵と小屋を配す。小屋の前にカワ（池）を設け、また小屋の内部に紙漉き小屋として水路を引き込んで作業用の水槽をつくっており、生業の具体をよく伝えている。地域固有の民家として重要である。</p> | | | |
| 写真 | 位置図 | | |
|  |  <p> ■ 建造物 — カワ — 石垣 </p> | | |

| | | | |
|---|---|-----|--|
| 番号 | C-31 | 指定等 | |
| 名称 | 七星庵（主屋・土蔵・カワ） | | |
| 所在地 | 飯山市大字瑞穂 | | |
| 所有者 | 飯山市 | | |
| 保存対象 | <ul style="list-style-type: none"> ・石垣の位置、形状、構法、使用材料 ・水路又はカワ（池）の位置、形状、流路、護岸構造 ・建造物の位置、規模、形態、材料 | | |
| 現状変更及び保存に影響を及ぼす行為 | <ul style="list-style-type: none"> ・石垣の位置及び形状、構法、使用材料の変更 ・水路又はカワ（池）の位置及び形状、流路、護岸構造の変更 ・建造物の位置及び規模、形態、材料の変更、増改築（内容により判断されるもの） | | |
| 概要・価値 | | | |
| <p>集落の中心、里宮のすぐ西側、集落の中央を貫くカイド沿いに位置する民家である。屋敷地の表側（南側）、カイドに寄った位置に主屋を構える。主屋は、屋根を寄棟造りの茅葺き（鉄板仮葺）とし、壁を真壁造りの土壁とした平入りで、正面を西側に向ける＜造りの典型Ⅰ＞。間取りは発展した形式で、茶の間の横に、二間続きの座敷を設ける＜間取りの典型Ⅱ＞。主屋の前面に庭を設け、屋敷地の奥側に土蔵を配す。奥の庭には水路を通し、カワ（池）を設ける。平成 28（2016）年より一棟貸しの宿泊施設として活用されている。地域固有の民家として重要である。</p> | | | |
| 写真 | 位置図 | | |
|  |  <p> ■ 建造物 ■ カワ ■ 石垣 </p> | | |


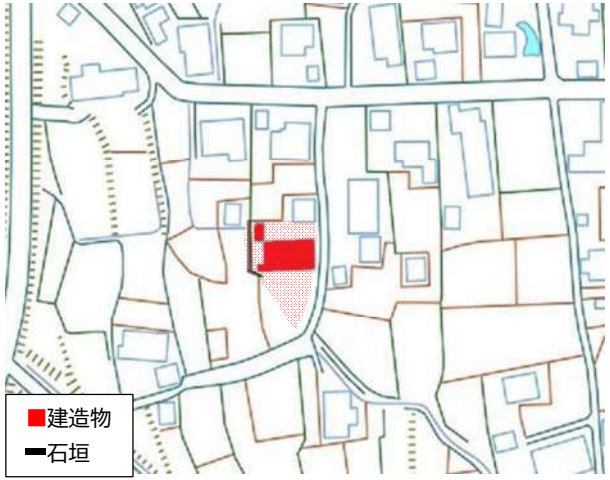
| | | | |
|---|---|-----|--|
| 番号 | C-32 | 指定等 | |
| 名称 | H家住宅（主屋・土蔵・小屋・カワ） | | |
| 所在地 | 飯山市大字瑞穂 | | |
| 所有者 | 個人 | | |
| 保存対象 | <ul style="list-style-type: none"> ・石垣の位置、形状、構法、使用材料 ・水路又はカワ（池）の位置、形状、流路、護岸構造 ・建造物の位置、規模、形態、材料 | | |
| 現状変更及び保存に影響を及ぼす行為 | <ul style="list-style-type: none"> ・石垣の位置及び形状、構法、使用材料の変更 ・水路又はカワ（池）の位置及び形状、流路、護岸構造の変更 ・建造物の位置及び規模、形態、材料の変更、増改築（内容により判断されるもの） | | |
| 概要・価値 | | | |
| <p>集落の南側、仁王門を過ぎて南側に入った通りに位置する民家である。屋敷地の北側に主屋を構える。主屋は屋根を寄棟造りの茅葺き（鉄板仮葺）とし、壁を真壁造りの土壁とした平入りで、正面を西側に向ける<造りの典型Ⅰ>。主屋の南側に土蔵、さらに南東側に小屋を配す。南龍池跡側から流れるカワ（池）を設ける。地域固有の民家として重要である。</p> | | | |
| 写真 | 位置図 | | |
|  |  <p> ■ 建造物 ■ カワ ■ 石垣 </p> | | |

| | | | |
|--|--|-----|--|
| 番号 | C-33 | 指定等 | |
| 名称 | M家住宅（主屋・カワ） | | |
| 所在地 | 飯山市大字瑞穂 | | |
| 所有者 | 個人 | | |
| 保存対象 | <ul style="list-style-type: none"> ・水路又はカワ（池）の位置、形状、流路、護岸構造 ・建造物の位置、規模、形態、材料 | | |
| 現状変更及び保存に影響を及ぼす行為 | <ul style="list-style-type: none"> ・水路又はカワ（池）の位置及び形状、流路、護岸構造の変更 ・建造物の位置及び規模、形態、材料の変更、増改築（内容により判断されるもの） | | |
| 概要・価値 | | | |
| <p>集落の南側、南龍池の辺りに位置する民家である。屋敷地の中央に主屋を構え、その南側に庭を配す。屋根を寄棟造りの茅葺き（鉄板仮葺）とし、壁を真壁造りの土壁とした平入りで、正面を南側に向ける<造りの典型Ⅰ>。南龍池跡側から流れるカワ（池）を設ける。地域固有の民家として重要である。</p> | | | |
| 写真 | 位置図 | | |
|  |  <p>■ 建造物 ■ カワ</p> <p>大字</p> | | |

| | | | |
|---|---|-----|--|
| 番号 | C-34 | 指定等 | |
| 名称 | Y家住宅（主屋・小屋・カワ） | | |
| 所在地 | 飯山市大字瑞穂 | | |
| 所有者 | 個人 | | |
| 保存対象 | <ul style="list-style-type: none"> ・石垣の位置、形状、構法、使用材料 ・水路又はカワ（池）の位置、形状、流路、護岸構造 ・建造物の位置、規模、形態、材料 | | |
| 現状変更及び保存に影響を及ぼす行為 | <ul style="list-style-type: none"> ・石垣の位置及び形状、構法、使用材料の変更 ・水路又はカワ（池）の位置及び形状、流路、護岸構造の変更 ・建造物の位置及び規模、形態、材料の変更、増改築（内容により判断されるもの） | | |
| 概要・価値 | | | |
| <p>集落の南側、桂清水の辺りに位置する民家である。屋敷地の中央に主屋を構える。主屋は屋根を寄棟造りの茅葺き（鉄板仮葺）とし、壁を真壁造りの土壁とした平入りで、正面を西側に向ける<造りの典型Ⅰ>。主屋の正面に小屋を配す。集落東山から流れるカワ（池）を設ける。地域固有の民家として重要である。</p> | | | |
| 写真 | 位置図 | | |
|  |  <p> ■ 建造物 — カワ — 石垣 </p> | | |

| | | | |
|--|---|--|--|
| 番号 | C-35 | 指定等 | |
| 名称 | K 家住宅（主屋・小屋・カワ） | | |
| 所在地 | 飯山市大字瑞穂 | | |
| 所有者 | 個人 | | |
| 保存対象 | <ul style="list-style-type: none"> ・石垣の位置、形状、構法、使用材料 ・水路又はカワ（池）の位置、形状、流路、護岸構造 ・建造物の位置、規模、形態、材料 | | |
| 現状変更及び保存に影響を及ぼす行為 | <ul style="list-style-type: none"> ・石垣の位置及び形状、構法、使用材料の変更 ・水路又はカワ（池）の位置及び形状、流路、護岸構造の変更 ・建造物の位置及び規模、形態、材料の変更、増改築（内容により判断されるもの） | | |
| 概要・価値 | | | |
| <p>菩提院の東側に位置する民家である。屋敷地の北側に主屋を構える。主屋は屋根を寄棟造りの茅葺き（鉄板仮葺）とし、壁を真壁造りの土壁とした平入りで、正面を南側に向ける＜造りの典型Ⅰ＞。茶の間の横に、一間の座敷を設ける＜間取りの典型Ⅰ＞。主屋の南側に小屋を配す。集落東山から流れる湧水でカワ（池）を設ける。地域固有の民家として重要である。</p> | | | |
| 写真 | | 位置図 | |
|  | |  | |

| | | | |
|---|---|---|--|
| 番号 | C-36 | 指定等 | |
| 名称 | S 家住宅（主屋・小屋） | | |
| 所在地 | 飯山市大字瑞穂 | | |
| 所有者 | 個人 | | |
| 保存対象 | <ul style="list-style-type: none"> ・石垣の位置、形状、構法、使用材料 ・建造物の位置、規模、形態、材料 | | |
| 現状変更及び保存に影響を及ぼす行為 | <ul style="list-style-type: none"> ・石垣の位置及び形状、構法、使用材料の変更 ・建造物の位置及び規模、形態、材料の変更、増改築（内容により判断されるもの） | | |
| 概要・価値 | | | |
| <p>仁王門から東へ向かったカイド沿いに位置する民家である。屋敷地の表側（南側）、カイドに寄った位置に主屋を構える。主屋は、屋根を寄棟造りの茅葺き（鉄板仮葺）とし、壁を真壁造りの土壁とした平入りである<造りの典型Ⅰ>。主屋の北側に小屋を配す。地域固有の民家として重要である。</p> | | | |
| 写真 | | 位置図 | |
|  | |  | |

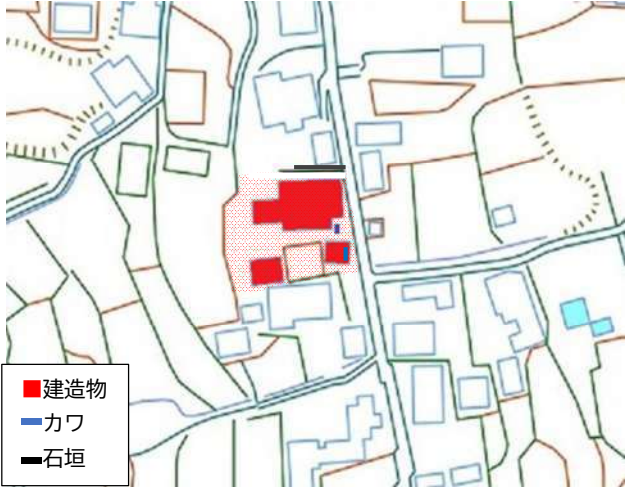
| | | | |
|--|---|-----|--|
| 番号 | C-37 | 指定等 | |
| 名称 | H 家住宅（主屋・小屋） | | |
| 所在地 | 飯山市大字瑞穂 | | |
| 所有者 | 個人 | | |
| 保存対象 | <ul style="list-style-type: none"> ・石垣の位置、形状、構法、使用材料 ・建造物の位置、規模、形態、材料 | | |
| 現状変更及び保存に影響を及ぼす行為 | <ul style="list-style-type: none"> ・石垣の位置及び形状、構法、使用材料の変更 ・建造物の位置及び規模、形態、材料の変更、増改築（内容により判断されるもの） | | |
| 概要・価値 | | | |
| <p>集落の南側、仁王門を過ぎて南側に入った通りに位置する民家である。屋敷地の北側に主屋を構える。主屋は屋根を寄棟造りの茅葺き（鉄板仮葺）とし、壁を真壁造りの土壁とした平入りで、正面を南側に向ける<造りの典型Ⅰ>。主屋の北側に小屋を配す。小屋は飯山地方を中心に分布するタテノボセの構法をもつ。地域固有の民家として重要である。</p> | | | |
| 写真 | 位置図 | | |
|  |  | | |

| | | | |
|---|---|-----|--|
| 番号 | C-38 | 指定等 | |
| 名称 | T家住宅（主屋・カワ） | | |
| 所在地 | 飯山市大字瑞穂 | | |
| 所有者 | 個人 | | |
| 保存対象 | <ul style="list-style-type: none"> ・石垣の位置、形状、構法、使用材料 ・水路又はカワ（池）の位置、形状、流路、護岸構造 ・建造物の位置、規模、形態、材料 | | |
| 現状変更及び保存に影響を及ぼす行為 | <ul style="list-style-type: none"> ・石垣の位置及び形状、構法、使用材料の変更 ・水路又はカワ（池）の位置及び形状、流路、護岸構造の変更 ・建造物の位置及び規模、形態、材料の変更、増改築（内容により判断されるもの） | | |
| 概要・価値 | | | |
| <p>仁王門の分岐を左に入った道沿いに位置する民家である。屋敷地の北側に主屋を構える。主屋は屋根を寄棟造りの茅葺き（鉄板仮葺）とし、壁を真壁造りの土壁とした平入りで、正面を南側に向ける<造りの典型Ⅰ>。南龍池跡側から流れるカワ（池）を設ける。地域固有の民家として重要である。</p> | | | |
| 写真 | 位置図 | | |
|  |  <p> ■ 建造物 — カワ — 石垣 </p> | | |

| | | | |
|---|--|-----|--|
| 番号 | C-39 | 指定等 | |
| 名称 | M家住宅（主屋・カワ） | | |
| 所在地 | 飯山市大字瑞穂 | | |
| 所有者 | 個人 | | |
| 保存対象 | <ul style="list-style-type: none"> ・石垣の位置、形状、構法、使用材料 ・水路又はカワ（池）の位置、形状、流路、護岸構造 ・建造物の位置、規模、形態、材料 | | |
| 現状変更及び保存に影響を及ぼす行為 | <ul style="list-style-type: none"> ・石垣の位置及び形状、構法、使用材料の変更 ・水路又はカワ（池）の位置及び形状、流路、護岸構造の変更 ・建造物の位置及び規模、形態、材料の変更、増改築（内容により判断されるもの） | | |
| 概要・価値 | | | |
| <p>仁王門の西側の道路沿いに位置する民家である。屋敷地の北側に主屋を構える。主屋は屋根を寄棟造りの茅葺き（鉄板仮葺）とし、壁を真壁造りの土壁とした平入りで、正面を南側に向ける<造りの典型Ⅰ>。間取りは茶の間の横に、二間続きの座敷を設ける<間取りの典型Ⅱ>。主屋の東側に南龍池跡側から流れるカワ（池）を設ける。地域固有の民家として重要である。</p> | | | |
| 写真 | 位置図 | | |
|  |  <div data-bbox="772 1420 900 1532" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ■ 建造物 — カワ — 石垣 </div> | | |

| | | | |
|--|--|-----|--|
| 番号 | C-40 | 指定等 | |
| 名称 | M 家住宅（主屋） | | |
| 所在地 | 飯山市大字瑞穂 | | |
| 所有者 | 個人 | | |
| 保存対象 | ・ 建造物の位置、規模、形態、材料 | | |
| 現状変更及び保存に影響を及ぼす行為 | ・ 建造物の位置及び規模、形態、材料の変更、増改築（内容により判断されるもの） | | |
| 概要・価値 | | | |
| <p>仁王門から東に伸びる道沿いから左に入って位置する民家である。屋敷地の中央に主屋を構え、その南に庭を配す。主屋は屋根を寄棟造りの茅葺き（鉄板仮葺）とし、壁を真壁造りの土壁とした平入りで、正面を南側に向ける<造りの典型 I>。地域固有の民家として重要である。</p> | | | |
| 写真 | 位置図 | | |
|  |  | | |

| | | | |
|--|---|---|--|
| 番号 | C-41 | 指定等 | |
| 名称 | K 家住宅（主屋） | | |
| 所在地 | 飯山市大字瑞穂 | | |
| 所有者 | 個人 | | |
| 保存対象 | ・ 建造物の位置、規模、形態、材料 | | |
| 現状変更及び保存に影響を及ぼす行為 | ・ 建造物の位置及び規模、形態、材料の変更、増改築（内容により判断されるもの） | | |
| 概要・価値 | | | |
| 桂清水周辺に位置する民家である。主屋は屋根を切妻造りの茅葺き（鉄板仮葺）とし、壁を真壁造りの土壁とした平入りで、正面を西側に向ける＜造りの典型Ⅱ＞。地域固有の民家として重要である。 | | | |
| 写真 | | 位置図 | |
|  | |  | |

| | | | |
|---|---|-----|--|
| 番号 | C-42 | 指定等 | |
| 名称 | K 家住宅（主屋・土蔵・小屋・カワ） | | |
| 所在地 | 飯山市大字瑞穂 | | |
| 所有者 | 個人 | | |
| 保存対象 | <ul style="list-style-type: none"> ・石垣の位置、形状、構法、使用材料 ・水路又はカワ（池）の位置、形状、流路、護岸構造 ・建造物の位置、規模、形態、材料 | | |
| 現状変更及び保存に影響を及ぼす行為 | <ul style="list-style-type: none"> ・石垣の位置及び形状、構法、使用材料の変更 ・水路又はカワ（池）の位置及び形状、流路、護岸構造の変更 ・建造物の位置及び規模、形態、材料の変更、増改築（内容により判断されるもの） | | |
| 概要・価値 | | | |
| <p>桂清水へ向かう道沿いに位置する民家である。屋敷地の中央に主屋を構え、その西に庭を配し、その一部にカワ（池）を設ける。主屋は屋根を切妻造りの板葺き（鉄板仮葺）とし、壁を真壁造りの土壁とした平入りで、正面を南側に向ける＜造りの典型Ⅱ＞。茶の間の横に、二間続きの座敷を設ける＜間取りの典型Ⅱ＞。主屋の南側には紙漉の作業小屋を配す。この作業小屋には、屋敷地の東から水路を引き込んで作業用の水槽をつくっており、生業の具体をよく伝えている。地域固有の民家として重要である。</p> | | | |
| 写真 | 位置図 | | |
|  |  | | |

| | | | |
|--|---|--|--|
| 番号 | C-43 | 指定等 | |
| 名称 | T家住宅（主屋・土蔵・小屋・カワ） | | |
| 所在地 | 飯山市大字瑞穂 | | |
| 所有者 | 個人 | | |
| 保存対象 | <ul style="list-style-type: none"> ・石垣の位置、形状、構法、使用材料 ・水路又はカワ（池）の位置、形状、流路、護岸構造 ・建造物の位置、規模、形態、材料 | | |
| 現状変更及び保存に影響を及ぼす行為 | <ul style="list-style-type: none"> ・石垣の位置及び形状、構法、使用材料の変更 ・水路又はカワ（池）の位置及び形状、流路、護岸構造の変更 ・建造物の位置及び規模、形態、材料の変更、増改築（内容により判断されるもの） | | |
| 概要・価値 | | | |
| <p>仁王門から東に伸びる道沿いから左に入って位置する民家である。屋敷地の中央に主屋を構え、その南に庭を配し、その一部にカワを設ける。主屋は屋根を切妻造りの板葺き（鉄板仮葺）とし、壁を真壁造りの土壁とした平入りで、正面を南側に向ける<造りの典型Ⅱ>。主屋の正面に小屋、西側には土蔵を配す。集落東山から流れる湧水でカワ（池）を設ける。地域固有の民家として重要である。</p> | | | |
| 写真 | | 位置図 | |
|  | |  | |

| | | | |
|---|---|-----|--|
| 番号 | C-44 | 指定等 | |
| 名称 | M家住宅（主屋・小屋・カワ） | | |
| 所在地 | 飯山市大字瑞穂 | | |
| 所有者 | 個人 | | |
| 保存対象 | <ul style="list-style-type: none"> ・石垣の位置、形状、構法、使用材料 ・水路又はカワ（池）の位置、形状、流路、護岸構造 ・建造物の位置、規模、形態、材料 | | |
| 現状変更及び保存に影響を及ぼす行為 | <ul style="list-style-type: none"> ・石垣の位置及び形状、構法、使用材料の変更 ・水路又はカワ（池）の位置及び形状、流路、護岸構造の変更 ・建造物の位置及び規模、形態、材料の変更、増改築（内容により判断されるもの） | | |
| 概要・価値 | | | |
| <p>集落の南側、里宮から南に伸びる道沿いに位置する民家である。屋敷地の中央に主屋を構え、その南に庭を配し、その一部にカワ（池）を設ける。主屋は新しい形式で、屋根を切妻造りの板葺き（鉄板仮葺）とし、壁を真壁造りの土壁とした平入りで、正面を南側に向ける<造りの典型Ⅱ>。雪に備え、軒を桔木で支えている点は構造の発展を物語る。間取りも発展した形式で、茶の間の横に、二間続きの座敷を設ける<間取りの典型Ⅱ>。間取りはのちの時代に改造して茶の間の前面に紙漉部屋を設けるなど、生業の展開をよく物語る。主屋の東側には紙漉の作業小屋を配す。この作業小屋には、屋敷地の東から水路を引き込んで作業用の水槽をつくっており、生業の具体をよく伝えている。地域固有の民家として重要である。</p> | | | |
| 写真 | 位置図 | | |
|  |  <p>■ 建造物 ■ カワ — 石垣</p> | | |

| | | | |
|--|---|-----|--|
| 番号 | C-45 | 指定等 | |
| 名称 | N 家住宅（主屋・小屋・カワ） | | |
| 所在地 | 飯山市大字瑞穂 | | |
| 所有者 | 個人 | | |
| 保存対象 | <ul style="list-style-type: none"> ・石垣の位置、形状、構法、使用材料 ・水路又はカワ（池）の位置、形状、流路、護岸構造 ・建造物の位置、規模、形態、材料 | | |
| 現状変更及び保存に影響を及ぼす行為 | <ul style="list-style-type: none"> ・石垣の位置及び形状、構法、使用材料の変更 ・水路又はカワ（池）の位置及び形状、流路、護岸構造の変更 ・建造物の位置及び規模、形態、材料の変更、増改築（内容により判断されるもの） | | |
| 概要・価値 | | | |
| <p>十王堂跡の西側に位置する民家である。屋敷地の中央に主屋を構え、その南に庭を配し、その一部にカワ（池）を設ける。主屋は屋根を切妻造りの板葺き（鉄板仮葺）とし、壁を真壁造りの土壁とした平入りで、正面を南側に向ける<造りの典型Ⅱ>。主屋の南側に小屋を配す。地域固有の民家として重要である。</p> | | | |
| 写真 | 位置図 | | |
|  |  <p> ■ 建造物 ■ カワ ■ 石垣 </p> | | |

| | | | |
|---|---|-----|--|
| 番号 | C-46 | 指定等 | |
| 名称 | K 家住宅（土蔵） | | |
| 所在地 | 飯山市大字瑞穂 | | |
| 所有者 | 個人 | | |
| 保存対象 | ・ 建造物の位置、規模、形態、材料 | | |
| 現状変更及び保存に影響を及ぼす行為 | ・ 建造物の位置及び規模、形態、材料の変更、増改築（内容により判断されるもの） | | |
| 概要・価値 | | | |
| <p>集落の北側、蓮池の裏側に位置する民家である。屋敷地の南側に土蔵を配する。土蔵は屋根を置き屋根とし、壁は大壁造りの土壁（中塗り仕上げ）である。地域固有の民家として重要である。</p> | | | |
| 写真 | 位置図 | | |
|  |  | | |

| | | | |
|--|---|--|--|
| 番号 | C-47 | 指定等 | |
| 名称 | T家住宅（主屋・カワ） | | |
| 所在地 | 飯山市大字瑞穂 | | |
| 所有者 | 個人 | | |
| 保存対象 | <ul style="list-style-type: none"> ・石垣の位置、形状、構法、使用材料 ・水路又はカワ（池）の位置、形状、流路、護岸構造 ・建造物の位置、規模、形態、材料 | | |
| 現状変更及び保存に影響を及ぼす行為 | <ul style="list-style-type: none"> ・石垣の位置及び形状、構法、使用材料の変更 ・水路又はカワ（池）の位置及び形状、流路、護岸構造の変更 ・建造物の位置及び規模、形態、材料の変更、増改築（内容により判断されるもの） | | |
| 概要・価値 | | | |
| <p>十王堂跡の東側に位置する民家である。屋敷地の中央に主屋を構え、その南にカワ（池）を設ける。主屋は屋根を切妻造りの板葺き（鉄板仮葺）とし、壁を真壁造りの土壁とした平入りで、正面を西側に向ける<造りの典型Ⅱ>。地域固有の民家として重要である。</p> | | | |
| 写真 | | 位置図 | |
|  | |  | |

| | | | |
|---|--|-----|--|
| 番号 | C-48 | 指定等 | |
| 名称 | U家住宅（主屋・カワ） | | |
| 所在地 | 飯山市大字瑞穂 | | |
| 所有者 | | | |
| 保存対象 | <ul style="list-style-type: none"> 水路又はカワ（池）の位置、形状、流路、護岸構造 建造物の位置、規模、形態、材料 | | |
| 現状変更及び保存に影響を及ぼす行為 | <ul style="list-style-type: none"> 水路又はカワ（池）の位置及び形状、流路、護岸構造の変更 建造物の位置及び規模、形態、材料の変更、増改築（内容により判断されるもの） | | |
| 概要・価値 | | | |
| <p>十王堂跡の西の道を下った位置にある民家である。屋敷地の中央に主屋を構え、その一部カワ（池）を設ける。主屋は屋根を切妻造りの板葺き（鉄板仮葺）とし、壁を真壁造りの土壁とした平入りで、正面を南側に向ける<造りの典型Ⅱ>。地域固有の民家として重要である。</p> | | | |
| 写真 | 位置図 | | |
|  |  <p>■ 建造物 — カワ</p> | | |



| | | | |
|---|---|-----|--|
| 番号 | C-49 | 指定等 | |
| 名称 | M家住宅（主屋） | | |
| 所在地 | 飯山市大字瑞穂 | | |
| 所有者 | 個人 | | |
| 保存対象 | <ul style="list-style-type: none"> ・石垣の位置、形状、構法、使用材料 ・建造物の位置、規模、形態、材料 | | |
| 現状変更及び保存に影響を及ぼす行為 | <ul style="list-style-type: none"> ・石垣の位置及び形状、構法、使用材料の変更 ・建造物の位置及び規模、形態、材料の変更、増改築（内容により判断されるもの） | | |
| 概要・価値 | | | |
| <p>講堂庭の入り口に位置する民家である。主屋は屋根を切妻造りの板葺き（鉄板仮葺）とし、壁を真壁造りの土壁とした平入りで、正面を南側に向ける<造りの典型Ⅱ>。地域固有の民家として重要である。</p> | | | |
| 写真 | 位置図 | | |
|  |  <p>■ 建造物 — 石垣</p> | | |



| | | | |
|--|---|---|--|
| 番号 | C-50 | 指定等 | |
| 名称 | S 家住宅（主屋） | | |
| 所在地 | 飯山市大字瑞穂 | | |
| 所有者 | 個人 | | |
| 保存対象 | ・ 建造物の位置、規模、形態、材料 | | |
| 現状変更及び保存に影響を及ぼす行為 | ・ 建造物の位置及び規模、形態、材料の変更、増改築（内容により判断されるもの） | | |
| 概要・価値 | | | |
| <p>観音堂へ向かう道沿いに位置する民家である。主屋は屋根を切妻造りの板葺き（鉄板仮葺）とし、壁を真壁造りの土壁とした平入りで、正面を南側に向ける＜造りの典型Ⅱ＞。地域固有の民家として重要である。</p> | | | |
| 写真 | | 位置図 | |
|  | |  | |

| | | | |
|---|---|--|--|
| 番号 | C-51 | 指定等 | |
| 名称 | M家住宅（土蔵・小屋・カワ） | | |
| 所在地 | 飯山市大字瑞穂 | | |
| 所有者 | 個人 | | |
| 保存対象 | <ul style="list-style-type: none"> ・石垣の位置、形状、構法、使用材料 ・水路又はカワ（池）の位置、形状、流路、護岸構造 ・建造物の位置、規模、形態、材料 | | |
| 現状変更及び保存に影響を及ぼす行為 | <ul style="list-style-type: none"> ・石垣の位置及び形状、構法、使用材料の変更 ・水路又はカワ（池）の位置及び形状、流路、護岸構造の変更 ・建造物の位置及び規模、形態、材料の変更、増改築（内容により判断されるもの） | | |
| 概要・価値 | | | |
| <p>集落の南側、カイド沿いに位置する民家である。屋敷地の南側に土蔵を配する。土蔵は屋根を置き屋根とし、壁は大壁造りの土壁（白漆喰塗り仕上げ）である。道反対に小屋がある。小屋は屋根を切妻造りの板葺き（鉄板仮葺）とし、壁は真壁造りの土壁である。小屋の西側にカワ（池）を設ける。地域固有の民家として重要である。</p> | | | |
| 写真 | | 位置図 | |
|  | |  | |

| | | | |
|---|---|-----|--|
| 番号 | C-52 | 指定等 | |
| 名称 | M家住宅（土蔵・小屋・カワ） | | |
| 所在地 | 飯山市大字瑞穂 | | |
| 所有者 | 個人 | | |
| 保存対象 | <ul style="list-style-type: none"> ・石垣の位置、形状、構法、使用材料 ・水路又はカワ（池）の位置、形状、流路、護岸構造 ・建造物の位置、規模、形態、材料 | | |
| 現状変更及び保存に影響を及ぼす行為 | <ul style="list-style-type: none"> ・石垣の位置及び形状、構法、使用材料の変更 ・水路又はカワ（池）の位置及び形状、流路、護岸構造の変更 ・建造物の位置及び規模、形態、材料の変更、増改築（内容により判断されるもの） | | |
| 概要・価値 | | | |
| <p>集落の南側、カイド沿いに位置する民家である。屋敷地の北側に土蔵と小屋が一体となって配される。土蔵は屋根を置き屋根とし、壁は大壁造りの土壁（中塗り仕上げ）である。小屋は屋根を切妻造りの茅葺き（鉄板仮葺）とし、壁は真壁造りの土壁である。小屋の東側にカワ（池）を設ける。地域固有の民家として重要である。</p> | | | |
| 写真 | 位置図 | | |
|  |  | | |

| | | | |
|---|---|--|--|
| 番号 | C-53 | 指定等 | |
| 名称 | 旧U家住宅（土蔵・小屋） | | |
| 所在地 | 飯山市大字瑞穂 | | |
| 所有者 | 個人 | | |
| 保存対象 | <ul style="list-style-type: none"> ・石垣の位置、形状、構法、使用材料 ・建造物の位置、規模、形態、材料 | | |
| 現状変更及び保存に影響を及ぼす行為 | <ul style="list-style-type: none"> ・石垣の位置及び形状、構法、使用材料の変更 ・建造物の位置及び規模、形態、材料の変更、増改築（内容により判断されるもの） | | |
| 概要・価値 | | | |
| <p>仁王門の分岐を北側に入った道沿いに位置する民家である。屋敷地の南側に土蔵と小屋を配する。土蔵は屋根を置き屋根とし、壁は大壁造りの土壁（中塗り仕上げ）である。小屋は屋根を切妻造りの茅葺き（鉄板仮葺）とし、壁は真壁造りの土壁である。飯山地方を中心に分布するタテノボセの構法をもつ。地域固有の民家として重要である。</p> | | | |
| 写真 | | 位置図 | |
|  | |  | |

| | | | |
|--|---|-----|--|
| 番号 | C-54 | 指定等 | |
| 名称 | M 家住宅（土蔵） | | |
| 所在地 | 飯山市大字瑞穂 | | |
| 所有者 | 個人 | | |
| 保存対象 | <ul style="list-style-type: none"> ・石垣の位置、形状、構法、使用材料 ・建造物の位置、規模、形態、材料 | | |
| 現状変更及び保存に影響を及ぼす行為 | <ul style="list-style-type: none"> ・石垣の位置及び形状、構法、使用材料の変更 ・建造物の位置及び規模、形態、材料の変更、増改築（内容により判断されるもの） | | |
| 概要・価値 | | | |
| <p>里宮と南龍池跡を結ぶ道の西側に位置する民家である。屋敷地の東側に土蔵を配する。土蔵は屋根を置き屋根とし、壁は大壁造りの土壁（中塗り仕上げ）である。地域固有の民家として重要である。</p> | | | |
| 写真 | 位置図 | | |
|  |  <p>■ 建造物 — 石垣</p> | | |

| | | | |
|---|---|-----|--|
| 番号 | C-55 | 指定等 | |
| 名称 | M家住宅（土蔵・小屋） | | |
| 所在地 | 飯山市大字瑞穂 | | |
| 所有者 | 個人 | | |
| 保存対象 | <ul style="list-style-type: none"> ・石垣の位置、形状、構法、使用材料 ・建造物の位置、規模、形態、材料 | | |
| 現状変更及び保存に影響を及ぼす行為 | <ul style="list-style-type: none"> ・石垣の位置及び形状、構法、使用材料の変更 ・建造物の位置及び規模、形態、材料の変更、増改築（内容により判断されるもの） | | |
| 概要・価値 | | | |
| <p>集落の南側、カイド沿いに位置する民家である。屋敷地の北側に土蔵と小屋が一体となって配される。土蔵は屋根を置き屋根とし、壁は大壁造りの土壁（中塗り仕上げ）である。小屋は屋根を切妻造りの板葺き（鉄板仮葺）とし、壁は真壁造りの土壁である。飯山地方を中心に分布するタテノボセの構法をもつ。地域固有の民家として重要である。</p> | | | |
| 写真 | 位置図 | | |
|  |  | | |

| | | | |
|---|---|-----|--|
| 番号 | C-56 | 指定等 | |
| 名称 | Y家住宅（土蔵・カワ） | | |
| 所在地 | 飯山市大字瑞穂 | | |
| 所有者 | 個人 | | |
| 保存対象 | <ul style="list-style-type: none"> ・石垣の位置、形状、構法、使用材料 ・水路又はカワ（池）の位置、形状、流路、護岸構造 ・建造物の位置、規模、形態、材料 | | |
| 現状変更及び保存に影響を及ぼす行為 | <ul style="list-style-type: none"> ・石垣の位置及び形状、構法、使用材料の変更 ・水路又はカワ（池）の位置及び形状、流路、護岸構造の変更 ・建造物の位置及び規模、形態、材料の変更、増改築（内容により判断されるもの） | | |
| 概要・価値 | | | |
| <p>桂清水へ向かう道から東へ向かう道筋に位置する民家である。屋敷地の東側に土蔵を配する。土蔵は屋根を置き屋根とし、壁は大壁造りの土壁（中塗り仕上げ）である。小屋の北側にカワ（池）を設ける。地域固有の民家として重要である。</p> | | | |
| 写真 | 位置図 | | |
|  |  <p>■ 建造物 — カワ — 石垣</p> | | |

| | | | |
|---|---|---|--|
| 番号 | C-57 | 指定等 | |
| 名称 | K 家住宅（土蔵・カワ） | | |
| 所在地 | 飯山市大字瑞穂 | | |
| 所有者 | 個人 | | |
| 保存対象 | <ul style="list-style-type: none"> ・石垣の位置、形状、構法、使用材料 ・水路又はカワ（池）の位置、形状、流路、護岸構造 ・建造物の位置、規模、形態、材料 | | |
| 現状変更及び保存に影響を及ぼす行為 | <ul style="list-style-type: none"> ・石垣の位置及び形状、構法、使用材料の変更 ・水路又はカワ（池）の位置及び形状、流路、護岸構造の変更 ・建造物の位置及び規模、形態、材料の変更、増改築（内容により判断されるもの） | | |
| 概要・価値 | | | |
| <p>十王堂跡の正面に位置する民家である。屋敷地の北側に土蔵を配する。土蔵は屋根を置き屋根とし、壁は大壁造りの土壁（中塗り仕上げ）である。主屋の正面にカワ（池）を設ける。地域固有の民家として重要である。</p> | | | |
| 写真 | | 位置図 | |
|  | |  | |

| | | | |
|---|---|-----|--|
| 番号 | C-58 | 指定等 | |
| 名称 | K 家住宅（土蔵・カワ） | | |
| 所在地 | 飯山市大字瑞穂 | | |
| 所有者 | 個人 | | |
| 保存対象 | <ul style="list-style-type: none"> ・水路又はカワ（池）の位置、形状、流路、護岸構造 ・建造物の位置、規模、形態、材料 | | |
| 現状変更及び保存に影響を及ぼす行為 | <ul style="list-style-type: none"> ・水路又はカワ（池）の位置及び形状、流路、護岸構造の変更 ・建造物の位置、規模、形態、材料の変更、増改築（内容により判断されるもの） | | |
| 概要・価値 | | | |
| <p>仁王門から東に上がったカイド沿いに位置する民家である。主屋の側にカワ（池）を設ける。屋敷地の南側に土蔵を配する。土蔵は屋根を置き屋根とし、壁は大壁造りの土壁（中塗り仕上げ）である。地域固有の民家として重要である。</p> | | | |
| 写真 | 位置図 | | |
|  |  <p>■ 建造物 ■ カワ</p> | | |

| | | | |
|---|--|-----|--|
| 番号 | C-59 | 指定等 | |
| 名称 | Y家住宅（土蔵・カワ） | | |
| 所在地 | 飯山市大字瑞穂 | | |
| 所有者 | 個人 | | |
| 保存対象 | <ul style="list-style-type: none"> ・石垣の位置、形状、構法、使用材料 ・水路又はカワ（池）の位置、形状、流路、護岸構造 ・建造物の位置、規模、形態、材料 | | |
| 現状変更及び保存に影響を及ぼす行為 | <ul style="list-style-type: none"> ・石垣の位置及び形状、構法、使用材料の変更 ・水路又はカワ（池）の位置及び形状、流路、護岸構造の変更 ・建造物の位置及び規模、形態、材料の変更、増改築（内容により判断されるもの） | | |
| 概要・価値 | | | |
| <p>仁王門の東側に位置する民家である。屋敷地の北側に土蔵とカワを配する。土蔵は屋根を置き屋根とし、壁は大壁造りの土壁（中塗り仕上げ）である。地域固有の民家として重要である。</p> | | | |
| 写真 | 位置図 | | |
|  |  <p> ■ 建造物 — カワ — 石垣 </p> | | |

| | | | |
|---|---|--|--|
| 番号 | C-60 | 指定等 | |
| 名称 | Y家住宅（土蔵・カワ） | | |
| 所在地 | 飯山市大字瑞穂 | | |
| 所有者 | 個人 | | |
| 保存対象 | <ul style="list-style-type: none"> ・石垣の位置、形状、構法、使用材料 ・水路又はカワ（池）の位置、形状、流路、護岸構造 ・建造物の位置、規模、形態、材料 | | |
| 現状変更及び保存に影響を及ぼす行為 | <ul style="list-style-type: none"> ・石垣の位置及び形状、構法、使用材料の変更 ・水路又はカワ（池）の位置及び形状、流路、護岸構造の変更 ・建造物の位置及び規模、形態、材料の変更、増改築（内容により判断されるもの） | | |
| 概要・価値 | | | |
| <p>仁王門の分岐を北側に登った道沿いに位置する民家である。主屋の東側にカワ（池）を設ける。主屋の北側に土蔵を配する。土蔵は屋根を置き屋根とし、壁は大壁造りの土壁（中塗り仕上げ）である。地域固有の民家として重要である。</p> | | | |
| 写真 | | 位置図 | |
|  | |  | |

| | | | |
|--|---|-----|--|
| 番号 | C-61 | 指定等 | |
| 名称 | W 家住宅（土蔵・カワ） | | |
| 所在地 | 飯山市大字瑞穂 | | |
| 所有者 | 個人 | | |
| 保存対象 | <ul style="list-style-type: none"> ・石垣の位置、形状、構法、使用材料 ・水路又はカワ（池）池の位置、形状、流路、護岸構造 ・建造物の位置、規模、形態、材料 | | |
| 現状変更及び保存に影響を及ぼす行為 | <ul style="list-style-type: none"> ・石垣の位置及び形状、構法、使用材料の変更 ・水路又はカワ（池）の位置及び形状、流路、護岸構造の変更 ・建造物の位置及び規模、形態、材料の変更、増改築（内容により判断されるもの） | | |
| 概要・価値 | | | |
| <p>里宮の西側に位置する民家である。屋敷地の北西側に土蔵とカワ（池）を配する。土蔵は屋根を置き屋根とし、壁は大壁造りの土壁（中塗り仕上げ）である。地域固有の民家として重要である。</p> | | | |
| 写真 | 位置図 | | |
|  |  | | |

| | | | |
|---|---|---|--|
| 番号 | C-62 | 指定等 | |
| 名称 | Y家住宅（土蔵・カワ） | | |
| 所在地 | 飯山市大字瑞穂 | | |
| 所有者 | 個人 | | |
| 保存対象 | <ul style="list-style-type: none"> ・石垣の位置、形状、構法、使用材料 ・水路又はカワ（池）池の位置、形状、流路、護岸構造 ・建造物の位置、規模、形態、材料 | | |
| 現状変更及び保存に影響を及ぼす行為 | <ul style="list-style-type: none"> ・石垣の位置及び形状、構法、使用材料の変更 ・水路又はカワ（池）の位置及び形状、流路、護岸構造の変更 ・建造物の位置及び規模、形態、材料の変更、増改築（内容により判断されるもの） | | |
| 概要・価値 | | | |
| <p>集落の南側、仁王門から南への直線上に位置する民家である。屋敷地の南側に土蔵を配する。土蔵は屋根を置き屋根とし、壁は大壁造りの土壁（白漆喰塗り仕上げ）である。地域固有の民家として重要である。</p> | | | |
| 写真 | | 位置図 | |
|  | |  | |

| | | | |
|---|---|-----|--|
| 番号 | C-63 | 指定等 | |
| 名称 | K 家住宅（土蔵） | | |
| 所在地 | 飯山市大字瑞穂 | | |
| 所有者 | 個人 | | |
| 保存対象 | <ul style="list-style-type: none"> ・石垣の位置、形状、構法、使用材料 ・建造物の位置、規模、形態、材料 | | |
| 現状変更及び保存に影響を及ぼす行為 | <ul style="list-style-type: none"> ・石垣の位置及び形状、構法、使用材料の変更 ・建造物の位置及び規模、形態、材料の変更、増改築（内容により判断されるもの） | | |
| 概要・価値 | | | |
| <p>集落の南側、桂清水へ向かう道筋に面して位置する民家である。主屋の南側に土蔵を配する。土蔵は屋根を置き屋根とし、壁は大壁造りの土壁（中塗り仕上げ）である。地域固有の民家として重要である。</p> | | | |
| 写真 | 位置図 | | |
|  |  | | |

| | | | |
|--|---|--|--|
| 番号 | C-64 | 指定等 | |
| 名称 | N 家住宅（小屋） | | |
| 所在地 | 飯山市大字瑞穂 | | |
| 所有者 | 個人 | | |
| 保存対象 | <ul style="list-style-type: none"> ・石垣の位置、形状、構法、使用材料 ・建造物の位置、規模、形態、材料 | | |
| 現状変更及び保存に影響を及ぼす行為 | <ul style="list-style-type: none"> ・石垣の位置及び形状、構法、使用材料の変更 ・建造物の位置及び規模、形態、材料の変更、増改築（内容により判断されるもの） | | |
| 概要・価値 | | | |
| <p>集落の南側、十王堂跡の東側に位置する民家である。屋敷地主屋の南に小屋を配する。小屋は屋根を切妻造りの板葺き（鉄板仮葺）とし、壁は真壁造りの土壁である。地域固有の民家として重要である。</p> | | | |
| 写真 | | 位置図 | |
|  | |  | |

| | | | |
|---|---|--|--|
| 番号 | C-65 | 指定等 | |
| 名称 | H家住宅（小屋） | | |
| 所在地 | 飯山市大字瑞穂 | | |
| 所有者 | 個人 | | |
| 保存対象 | <ul style="list-style-type: none"> ・石垣の位置、形状、構法、使用材料 ・建造物の位置、規模、形態、材料 | | |
| 現状変更及び保存に影響を及ぼす行為 | <ul style="list-style-type: none"> ・石垣の位置及び形状、構法、使用材料の変更 ・建造物の位置及び規模、形態、材料の変更、増改築（内容により判断されるもの） | | |
| 概要・価値 | | | |
| <p>菩提院付近のカイド沿いに位置する民家である。屋敷地主屋の北側の道沿いに小屋を配する。小屋は屋根を切妻造りの板葺き（鉄板仮葺）とし、壁は真壁造りの土壁である。地域固有の民家として重要である。</p> | | | |
| 写真 | | 位置図 | |
|  | |  | |

| | | | |
|--|---|---|--|
| 番号 | C-66 | 指定等 | |
| 名称 | W 家住宅（カワ） | | |
| 所在地 | 飯山市大字瑞穂 | | |
| 所有者 | 個人 | | |
| 保存対象 | <ul style="list-style-type: none"> ・石垣の位置、形状、構法、使用材料 ・水路又はカワ（池）の位置、形状、流路、護岸構造 | | |
| 現状変更及び保存に影響を及ぼす行為 | <ul style="list-style-type: none"> ・石垣の位置及び形状、構法、使用材料の変更 ・水路又はカワ（池）の位置及び形状、流路、護岸構造の変更 | | |
| 概要・価値 | | | |
| <p>里宮付近のカイド沿いに位置する民家である。屋敷地主屋の東側に東山山腹の湧水を水源とするカワ（池）を設ける。地域固有の民家として重要である。</p> | | | |
| 写真 | | 位置図 | |
|  | |  | |

| | | | |
|--|---|---|--|
| 番号 | C-67 | 指定等 | |
| 名称 | M家住宅（カワ） | | |
| 所在地 | 飯山市大字瑞穂 | | |
| 所有者 | 個人 | | |
| 保存対象 | <ul style="list-style-type: none"> ・石垣の位置、形状、構法、使用材料 ・水路又はカワ（池）の位置、形状、流路、護岸構造 | | |
| 現状変更及び保存に影響を及ぼす行為 | <ul style="list-style-type: none"> ・石垣の位置及び形状、構法、使用材料の変更 ・水路又はカワ（池）の位置及び形状、流路、護岸構造の変更 | | |
| 概要・価値 | | | |
| <p>里宮付近のカイド沿いに位置する民家である。屋敷地主屋の西側に東山山腹の湧水を水源とするカワ（池）を設ける。地域固有の民家として重要である。</p> | | | |
| 写真 | | 位置図 | |
|  | |  | |


| | | | |
|---|---|-----|--|
| 番号 | C-68 | 指定等 | |
| 名称 | K 家住宅（カワ） | | |
| 所在地 | 飯山市大字瑞穂 | | |
| 所有者 | 個人 | | |
| 保存対象 | ・水路又はカワ（池）の位置、形状、流路、護岸構造 | | |
| 現状変更及び保存に影響を及ぼす行為 | ・水路又はカワ（池）の位置及び形状、流路、護岸構造の変更 | | |
| 概要・価値 | | | |
| <p>仁王門の南側に位置する民家である。屋敷地主屋の西側に南龍池跡から流れるカワ（池）を設ける。地域固有の民家として重要である。</p> | | | |
| 写真 | 位置図 | | |
|  |  | | |

| | | | |
|---|---|--|--|
| 番号 | C-69 | 指定等 | |
| 名称 | F 家住宅（カワ） | | |
| 所在地 | 飯山市大字瑞穂 | | |
| 所有者 | 個人 | | |
| 保存対象 | <ul style="list-style-type: none"> ・石垣の位置、形状、構法、使用材料 ・水路又はカワ（池）の位置、形状、流路、護岸構造 | | |
| 現状変更及び保存に影響を及ぼす行為 | <ul style="list-style-type: none"> ・石垣の位置及び形状、構法、使用材料の変更 ・水路又はカワ（池）の位置及び形状、流路、護岸構造の変更 | | |
| 概要・価値 | | | |
| <p>里宮から南に伸びる道沿いに位置する民家である。主屋の東側に東山山腹の湧水を水源とするカワ（池）を設ける。地域固有の民家として重要である。</p> | | | |
| 写真 | | 位置図 | |
|  | |  <p>—カワ —石垣</p> | |


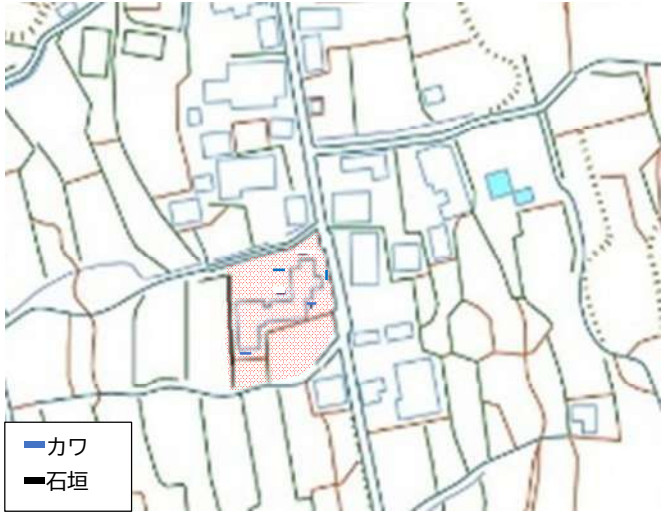
| | | | |
|--|---|--|--|
| 番号 | C-70 | 指定等 | |
| 名称 | I 家住宅（カワ） | | |
| 所在地 | 飯山市大字瑞穂 | | |
| 所有者 | 個人 | | |
| 保存対象 | <ul style="list-style-type: none"> ・石垣の位置、形状、構法、使用材料 ・水路又はカワ（池）の位置、形状、流路、護岸構造 | | |
| 現状変更及び保存に影響を及ぼす行為 | <ul style="list-style-type: none"> ・石垣の位置及び形状、構法、使用材料の変更 ・水路又はカワ（池）の位置及び形状、流路、護岸構造の変更 | | |
| 概要・価値 | | | |
| <p>里宮付近のカイド沿いに位置する民家である。屋敷地主屋の北側に東山山腹の湧水を水源とするカワ（池）を設ける。地域固有の民家として重要である。</p> | | | |
| 写真 | | 位置図 | |
|  | |  <p> ■ カワ ■ 石垣 </p> | |

| | | | |
|--|---|-----|--|
| 番号 | C-71 | 指定等 | |
| 名称 | Y家住宅(カワ) | | |
| 所在地 | 飯山市大字瑞穂 | | |
| 所有者 | 個人 | | |
| 保存対象 | <ul style="list-style-type: none"> ・石垣の位置、形状、構法、使用材料 ・水路又はカワ(池)の位置、形状、流路、護岸構造 | | |
| 現状変更及び保存に影響を及ぼす行為 | <ul style="list-style-type: none"> ・石垣の位置及び形状、構法、使用材料の変更 ・水路又はカワ(池)の位置及び形状、流路、護岸構造の変更 | | |
| 概要・価値 | | | |
| <p>里宮付近のカイド沿いに位置する民家である。屋敷地主屋の東側と西側に東山山腹の湧水を水源とするカワ(池)を設ける。地域固有の民家として重要である。</p> | | | |
| 写真 | 位置図 | | |
|  |  | | |

| | | | |
|---|---|---|--|
| 番号 | C-72 | 指定等 | |
| 名称 | K 家住宅（カワ） | | |
| 所在地 | 飯山市大字瑞穂 | | |
| 所有者 | 個人 | | |
| 保存対象 | <ul style="list-style-type: none"> ・石垣の位置、形状、構法、使用材料 ・水路又はカワ（池）の位置、形状、流路、護岸構造 | | |
| 現状変更及び保存に影響を及ぼす行為 | <ul style="list-style-type: none"> ・石垣の位置及び形状、構法、使用材料の変更 ・水路又はカワ（池）の位置及び形状、流路、護岸構造の変更 | | |
| 概要・価値 | | | |
| <p>桂清水へ向かう道沿いに位置する民家である。屋敷地主屋の北側に東山山腹の湧水を水源とするカワ（池）を設ける。地域固有の民家として重要である。</p> | | | |
| 写真 | | 位置図 | |
|  | |  | |



| | | | |
|--|---|---|--|
| 番号 | C-73 | 指定等 | |
| 名称 | Y家住宅（カワ） | | |
| 所在地 | 飯山市大字瑞穂 | | |
| 所有者 | 個人 | | |
| 保存対象 | <ul style="list-style-type: none"> ・石垣の位置、形状、構法、使用材料 ・水路又はカワ（池）の位置、形状、流路、護岸構造 | | |
| 現状変更及び保存に影響を及ぼす行為 | <ul style="list-style-type: none"> ・石垣の位置及び形状、構法、使用材料の変更 ・水路又はカワ（池）の位置及び形状、流路、護岸構造の変更 | | |
| 概要・価値 | | | |
| <p>講堂庭付近のカイド沿いに位置する民家である。屋敷地主屋の南側に東山山腹の湧水を水源とするカワ（池）を設ける。地域固有の民家として重要である。</p> | | | |
| 写真 | | 位置図 | |
|  | |  <p> ■ カワ 石垣 </p> | |

| | | | |
|---|---|---|--|
| 番号 | C-74 | 指定等 | |
| 名称 | 菩提院本堂（カワ） | | |
| 所在地 | 飯山市大字瑞穂 | | |
| 所有者 | 宗教法人 | | |
| 保存対象 | <ul style="list-style-type: none"> ・石垣の位置、形状、構法、使用材料 ・水路又はカワ（池）の位置、形状、流路、護岸構造 | | |
| 現状変更及び保存に影響を及ぼす行為 | <ul style="list-style-type: none"> ・石垣の位置及び形状、構法、使用材料の変更 ・水路又はカワ（池）の位置及び形状、流路、護岸構造の変更 | | |
| 概要・価値 | | | |
| <p>カイド沿いに位置する菩提院の庫裏である。本堂北寄りに東山山腹の湧水を水源とするカワ（池）を設ける。地域固有の民家として重要である。</p> | | | |
| 写真 | | 位置図 | |
|  | |  <p> ■ カワ 石垣 </p> | |


| | | | |
|---|---|---|--|
| 番号 | C-75 | 指定等 | |
| 名称 | K 家住宅（カワ） | | |
| 所在地 | 飯山市大字瑞穂 | | |
| 所有者 | 個人 | | |
| 保存対象 | <ul style="list-style-type: none"> ・石垣の位置、形状、構法、使用材料 ・水路又はカワ（池）の位置、形状、流路、護岸構造 | | |
| 現状変更及び保存に影響を及ぼす行為 | <ul style="list-style-type: none"> ・石垣の位置及び形状、構法、使用材料の変更 ・水路又はカワ（池）の位置及び形状、流路、護岸構造の変更 | | |
| 概要・価値 | | | |
| <p>桂清水付近に位置する民家である。屋敷地主屋の東側に東山山腹の湧水を水源とするカワ（池）を設ける。地域固有の民家として重要である。</p> | | | |
| 写真 | | 位置図 | |
|  | |  | |

| | | | |
|---|-----------------------|--|--|
| 番号 | D-1 | 指定等 | |
| 名称 | 集落の石垣 | | |
| 所在地 | 飯山市大字瑞穂 | | |
| 所有者 | 小菅区・個人 | | |
| 保存対象 | ・石垣の位置、形状、構法、使用材料 | | |
| 現状変更及び保存に影響を及ぼす行為 | ・石垣の位置及び形状、構法、使用材料の変更 | | |
| 概要・価値 | | | |
| <p>集落を見渡すと石垣で区画された平場が階段状に連なっている。これらは中世小菅山元隆寺の坊院跡で、近世には一般の居住地となって現在まで宅地や耕作地として利用されている。住宅地や耕作地の石垣は、地元で産出される安山岩等を利用し、石工や自分たちの手で積み直しを行ってきた。時代により空間の性格や用途は変化してきたが、空石積みの石垣が受け継がれてきたことも大きな特徴である。</p> <p>集落の石垣は、霊場空間を伝えるとともに石垣は集落の景観を区画し結ぶ骨格をなしている。</p> | | | |
| 写真 | | 位置図 | |
|  | |  | |

| | | | |
|---|----------------|--|--|
| 番号 | D-2 | 指定等 | |
| 名称 | 桂清水 | | |
| 所在地 | 飯山市大字瑞穂 | | |
| 所有者 | 小菅区 | | |
| 保存対象 | ・池の位置、形状、流路 | | |
| 現状変更及び保存に影響を及ぼす行為 | ・池の位置、形状、流路の変更 | | |
| 概要・価値 | | | |
| <p>神戸区と小菅区を結ぶ風切峠の小菅区側の入り口にある湧水。桂清水南方の山の水を受けて南龍池跡へと流れる。かつてはこの池で荷馬の足を冷やしたり、水を飲ませたりした。また、小菅市に並んだ馬もここで休んだという。周辺には西国巡拝塔などの石造物が設置されている。小菅七清水のひとつであり、生活・生業を支えた重要な池である。周辺のカツラの枝葉は小菅の柱松行事に利用される。</p> | | | |
| 写真 | | 位置図 | |
|  | |  | |


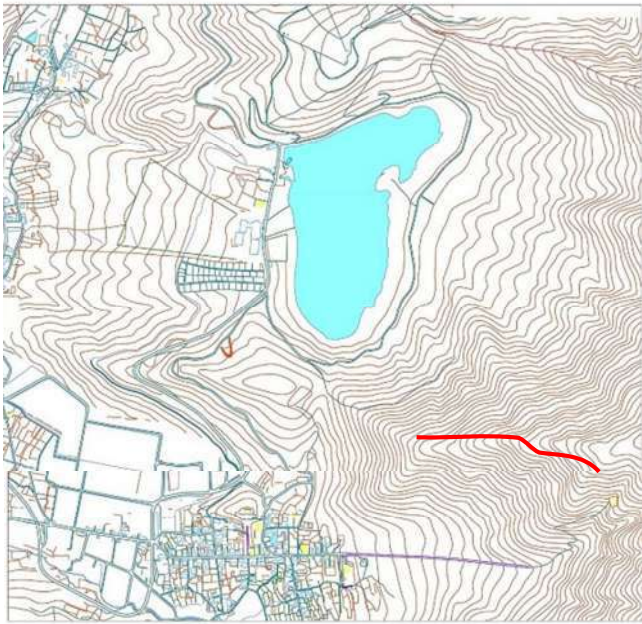
| | | | |
|--|---|-----|--|
| 番号 | D-3 | 指定等 | |
| 名称 | 大海清水 | | |
| 所在地 | 飯山市大字瑞穂 | | |
| 所有者 | 小菅区 | | |
| 保存対象 | ・水路の位置、形状、流路、護岸構造 | | |
| 現状変更及び保存に影響を及ぼす行為 | ・水路の位置及び形状、流路、護岸構造の変更 | | |
| 概要・価値 | | | |
| 桂清水北東の民家が途切れる場所にある湧水。南龍池跡へ流れ込む。小菅集落をめぐる水路網の水源のひとつであり、生活・生業を支える重要な水源である。 | | | |
| 写真 | 位置図 | | |
|  |  | | |


| | | | |
|--|-----------------------|---|--|
| 番号 | D-4 | 指定等 | |
| 名称 | 鼻清水 | | |
| 所在地 | 飯山市大字瑞穂 | | |
| 所有者 | 小菅区・個人 | | |
| 保存対象 | ・水路の位置、形状、流路、護岸構造 | | |
| 現状変更及び保存に影響を及ぼす行為 | ・水路の位置及び形状、流路、護岸構造の変更 | | |
| 概要・価値 | | | |
| <p>浅葉野庵北東から流れる湧水。この湧水を源流とした水は農地や住宅地内に流れ込む。小菅集落をめぐる水路網の水源のひとつであり、生活・生業を支える重要な水源である。</p> | | | |
| 写真 | | 位置図 | |
|  | |  | |


| | | | |
|--|-----------------------|---|--|
| 番号 | D-5 | 指定等 | |
| 名称 | 花清水 | | |
| 所在地 | 飯山市大字瑞穂 | | |
| 所有者 | 小菅区・個人 | | |
| 保存対象 | ・水路の位置、形状、流路、護岸構造 | | |
| 現状変更及び保存に影響を及ぼす行為 | ・水路の位置及び形状、流路、護岸構造の変更 | | |
| 概要・価値 | | | |
| 花清水を源流とする水は集落の南半分をめぐる南龍池跡に入る。小菅集落をめぐる水路網の水源地のひとつであり、生活・生業を支える重要な水源である。 | | | |
| 写真 | | 位置図 | |
|  | |  | |


| | | | |
|---|-----------------------|--|--|
| 番号 | D-6 | 指定等 | |
| 名称 | ひましめ用水 | | |
| 所在地 | 飯山市大字瑞穂 | | |
| 所有者 | 小菅区 | | |
| 保存対象 | ・水路の位置、形状、流路、護岸構造 | | |
| 現状変更及び保存に影響を及ぼす行為 | ・水路の位置及び形状、流路、護岸構造の変更 | | |
| 概要・価値 | | | |
| <p>集落内は大小さまざまな水路が複雑に巡っている。ひましめ用水は北竜湖西側の取水口から里宮の後ろあたりまでつながる用水路である。集落北側の水田に水を供給している。小菅集落の生活・生業を支える重要な用水である。</p> | | | |
| 写真 | | 位置図 | |
|  | |  | |


| | | | |
|--|-----------------------|--|--|
| 番号 | D-7 | 指定等 | |
| 名称 | 内山用水 | | |
| 所在地 | 飯山市大字瑞穂 | | |
| 所有者 | 国・小菅区 | | |
| 保存対象 | ・水路の位置、形状、流路、護岸構造 | | |
| 現状変更及び保存に影響を及ぼす行為 | ・水路の位置及び形状、流路、護岸構造の変更 | | |
| 概要・価値 | | | |
| <p>集落内は大小さまざまな水路が複雑に巡っている。内山用水は小菅山の雪解け水を北竜湖へ運ぶための水路で、水が流れるのは春先のみである。雪解け水はこの水路から北竜湖へ流れ、北竜湖から集落下へ流れていき、集落の北半分の水田を潤す。集落の重要な用水である。</p> | | | |
| 写真 | | 位置図 | |
|  | |  | |

| | | | |
|---|-----------------------|---|--|
| 番号 | D-8 | 指定等 | |
| 名称 | 上の平用水 | | |
| 所在地 | 飯山市大字瑞穂 | | |
| 所有者 | 国・小菅区 | | |
| 保存対象 | ・水路の位置、形状、流路、護岸構造 | | |
| 現状変更及び保存に影響を及ぼす行為 | ・水路の位置及び形状、流路、護岸構造の変更 | | |
| 概要・価値 | | | |
| <p>集落内は大小さまざまな水路が複雑に巡っている。上の平用水には雨水や雪解け水が流れ込み、これが北竜湖へ流れて畑を潤す。集落の重要な用水である。</p> | | | |
| 写真 | | 位置図 | |
|  | |  | |


| | | | |
|---|-----------------------|-----|--|
| 番号 | D-9 | 指定等 | |
| 名称 | 第一水系 | | |
| 所在地 | 飯山市大字瑞穂 | | |
| 所有者 | 飯山市・小菅区 | | |
| 保存対象 | ・水路の位置、形状、流路、護岸構造 | | |
| 現状変更及び保存に影響を及ぼす行為 | ・水路の位置及び形状、流路、護岸構造の変更 | | |
| 概要・価値 | | | |
| <p>第一水系は農地灌漑用水である。桂清水を水源とし、ワサビ田を通過して南龍池跡に流れる。護岸は石積みが残っており、古くからの水路の形態を残している。小菅独自の水廻しと昔ながらの石積み水路の形態は小菅の農村景観を構成する重要な要素である。</p> <p>小菅では、集落の住宅地と農地の全域に水路網が巡らされている。水源は東側の山中から流れ出る水と点在する湧水である。ほとんどの住宅地には実用的な用途を持つ方形のカワ（池）が造られており、野菜や農機具などの泥落としや冬の消雪などに利用されている。カワ（池）から流れ出た水は水田を潤している。住宅地と水田を一体的に潤している水路網は稀であり、極めて高い価値がある。</p> | | | |
| 写真 | 位置図 | | |
|  | <p>※位置図は 50 ページ参照</p> | | |


| | | | |
|---|-----------------------|-----|--|
| 番号 | D-10 | 指定等 | |
| 名称 | 第二水系 | | |
| 所在地 | 飯山市大字瑞穂 | | |
| 所有者 | 飯山市・小菅区 | | |
| 保存対象 | ・水路の位置、形状、流路、護岸構造 | | |
| 現状変更及び保存に影響を及ぼす行為 | ・水路の位置及び形状、流路、護岸構造の変更 | | |
| 概要・価値 | | | |
| <p>第二水系は農業・生活用水である。大海清水および集落東山の斜面を水源とし、集落内の田畑・住宅を通過して南龍池跡へ流れる。護岸は石積みが残っており、古くからの水路の形態を残している。小菅独自の水廻しと昔ながらの石積み水路の形態は、小菅の農村景観を構成する重要な水系である。</p> | | | |
| 写真 | 位置図 | | |
|  | <p>※位置図は 50 ページ参照</p> | | |


| | | | |
|--|-----------------------|-----------------------|--|
| 番号 | D-11 | 指定等 | |
| 名称 | 第三水系 | | |
| 所在地 | 飯山市大字瑞穂 | | |
| 所有者 | 飯山市・小菅区 | | |
| 保存対象 | ・水路の位置、形状、流路、護岸構造 | | |
| 現状変更及び保存に影響を及ぼす行為 | ・水路の位置及び形状、流路、護岸構造の変更 | | |
| 概要・価値 | | | |
| <p>第三水系は鼻清水および集落東山の斜面を水源とする。中央参道南を通過して南龍池跡沿いに流れて南龍池跡と合流し、第六水系へ合流する。護岸はU字溝になっているところが多い。小菅独自の水廻しを示す重要な水系である。</p> | | | |
| 写真 | | 位置図 | |
|  | | <p>※位置図は 50 ページ参照</p> | |

| | | | |
|---|-----------------------|-----------------------|--|
| 番号 | D-12 | 指定等 | |
| 名称 | 第四水系 | | |
| 所在地 | 飯山市大字瑞穂 | | |
| 所有者 | 飯山市・小菅区 | | |
| 保存対象 | ・水路の位置、形状、流路、護岸構造 | | |
| 現状変更及び保存に影響を及ぼす行為 | ・水路の位置及び形状、流路、護岸構造の変更 | | |
| 概要・価値 | | | |
| <p>第四水系は生活に関わる用水である。鼻清水および集落東山の斜面を水源とし、カイド沿いの住宅地を通って西方面へ流れる。一部蓮池へ流れながらさらに西へ流れていく。U字溝が多くみられる。小菅の生活を潤す重要な水系である。</p> | | | |
| 写真 | | 位置図 | |
|  | | <p>※位置図は 50 ページ参照</p> | |



| | | | |
|---|-----------------------|-----------------------|--|
| 番号 | D-13 | 指定等 | |
| 名称 | 第五水系 | | |
| 所在地 | 飯山市大字瑞穂 | | |
| 所有者 | 飯山市・小菅区 | | |
| 保存対象 | ・水路の位置、形状、流路、護岸構造 | | |
| 現状変更及び保存に影響を及ぼす行為 | ・水路の位置及び形状、流路、護岸構造の変更 | | |
| 概要・価値 | | | |
| <p>第五水系は第二・第三水系が合流し、桂清水の山側道でさらに合流して住宅・畑地を通して南龍池跡へ流れる。石積み護岸が残り、古くからの水路の形態を示している。小菅独自の水廻しと昔ながらの石積み水路の形態は小菅の農村景観を構成する重要な水系である。</p> | | | |
| 写真 | | 位置図 | |
|  | | <p>※位置図は 50 ページ参照</p> | |

| | | | |
|--|-----------------------|-----------------------|--|
| 番号 | D-14 | 指定等 | |
| 名称 | 第六水系 | | |
| 所在地 | 飯山市大字瑞穂 | | |
| 所有者 | 飯山市・小菅区 | | |
| 保存対象 | ・水路の位置、形状、流路、護岸構造 | | |
| 現状変更及び保存に影響を及ぼす行為 | ・水路の位置及び形状、流路、護岸構造の変更 | | |
| 概要・価値 | | | |
| <p>第六水系は南龍池跡の水と第三水系が合流し、仁王門の方へ流れ、田畑・住宅を通過して圃場整備された農地へ流れる。石積み護岸が残り、古くからの水路の形態を示している。小菅独自の水廻しと昔ながらの石積み水路の形態は小菅の農村景観を構成し、また水田を潤す重要な水系である。</p> | | | |
| 写真 | | 位置図 | |
|  | | <p>※位置図は 50 ページ参照</p> | |



| | | | |
|---|-----------------------|-----------------------|--|
| 番号 | D-15 | 指定等 | |
| 名称 | 第七水系 | | |
| 所在地 | 飯山市大字瑞穂 | | |
| 所有者 | 飯山市・小菅区 | | |
| 保存対象 | ・水路の位置、形状、流路、護岸構造 | | |
| 現状変更及び保存に影響を及ぼす行為 | ・水路の位置及び形状、流路、護岸構造の変更 | | |
| 概要・価値 | | | |
| <p>第七水系は農地灌漑用水である。里宮の裏側を流れる。第三・第四水系と同出発点の水路と北竜湖からの農業用水路（ひましめ）から成る複雑な水系である。小菅独自の水廻しであり、重要な水系である。</p> | | | |
| 写真 | | 位置図 | |
|  | | <p>※位置図は 50 ページ参照</p> | |


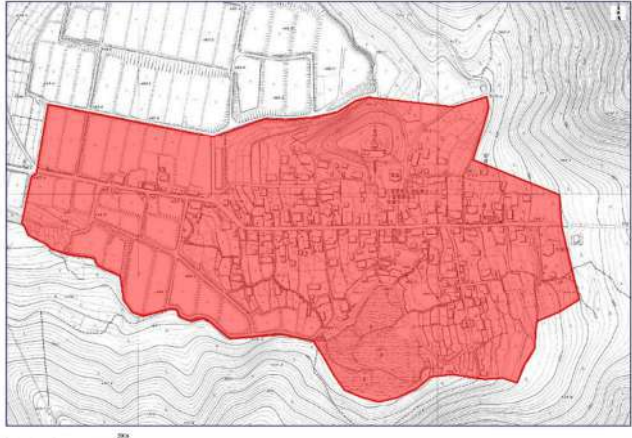
| | | | |
|---|-----------------------|-----|--|
| 番号 | D-16 | 指定等 | |
| 名称 | 第八水系 | | |
| 所在地 | 飯山市大字瑞穂 | | |
| 所有者 | 飯山市・小菅区 | | |
| 保存対象 | ・水路の位置、形状、流路、護岸構造 | | |
| 現状変更及び保存に影響を及ぼす行為 | ・水路の位置及び形状、流路、護岸構造の変更 | | |
| 概要・価値 | | | |
| <p>第八水系は農地灌漑用水である。間久保用水とよばれる。南龍池跡から西へ流れ、下流の圃場を潤す重要な水系である。</p> | | | |
| 写真 | 位置図 | | |
|  | <p>※位置図は 50 ページ参照</p> | | |

| | | | |
|---|------------|--|--------|
| 番号 | D-17 | 指定等 | 市天然記念物 |
| 名称 | 小菅のイトザクラ | | |
| 所在地 | 飯山市大字瑞穂 | | |
| 所有者 | 宗教法人 | | |
| 保存対象 | ・ 樹木 | | |
| 現状変更及び保存に影響を及ぼす行為 | ・ 樹木の伐採、伐根 | | |
| 概要・価値 | | | |
| <p>小菅集落には講堂庭入り口前と奥社入り口に2本のイトザクラがある。特に奥社入り口のイトザクラは市内においてこれほどの大木はなく、樹勢もよいことから市天然記念物に指定されている。</p> <p>巨木である点、かつての小菅山の隆盛を物語る天然記念物として重要である。</p> | | | |
| 写真 | | 位置図 | |
|  | |  | |

| | | | |
|---|-----------|--|--------|
| 番号 | D-18 | 指定等 | 市天然記念物 |
| 名称 | 小菅のヤマグワ | | |
| 所在地 | 飯山市大字瑞穂 | | |
| 所有者 | 個人 | | |
| 保存対象 | ・樹木 | | |
| 現状変更及び保存に影響を及ぼす行為 | ・樹木の伐採、伐根 | | |
| 概要・価値 | | | |
| <p>小菅ではかつて養蚕を営んでいた民家があり、クワも多く分布する。市内唯一のヤマグワの大木であり、貴重である。市天然記念物に指定されている。</p> <p>住宅の敷地やその周囲には、カキやクリが多い。カイド沿いには、その他にもサクラ、カエデがあり、里宮の参道にはスギが植栽されている。集落全体に樹木が多く、緑豊かな景観を構成している。それが小菅の景観の価値の一つをなしている。</p> | | | |
| 写真 | | 位置図 | |
|  | |  | |

| | | | |
|---|------------|---|--|
| 番号 | D-19 | 指定等 | |
| 名称 | 集落内のカキ | | |
| 所在地 | 飯山市大字瑞穂 | | |
| 所有者 | 個人 | | |
| 保存対象 | ・ 樹木 | | |
| 現状変更及び 保存に影響を 及ぼす行為 | ・ 樹木の伐採、伐根 | | |
| 概要・価値 | | | |
| <p>小菅集落（住宅内や農地）には農村風景の代表的なカキの木が数多くみられる。カキは食糧不足のときの貴重食として民家に多く植えられている。農村景観を表す樹木として重要である。</p> | | | |
| 写真 | | 位置図 | |
|  | |  | |

| | | | |
|---|---|--|--|
| 番号 | D-20 | 指定等 | |
| 名称 | 集落のブナ林 | | |
| 所在地 | 飯山市大字瑞穂 | | |
| 所有者 | 個人 | | |
| 保存対象 | <ul style="list-style-type: none"> ・ブナ林の空間 ・石造物 | | |
| 現状変更及び保存に影響を及ぼす行為 | <ul style="list-style-type: none"> ・樹木の伐採、伐根 ・石造物の移設、除去 | | |
| 概要・価値 | | | |
| <p>集落南方に接する標高 490～530m 付近の丘陵地の一部にブナ林が成立する。ブナ林の上部と下部では樹高や林分構造に違いがみられ、これらは伐採や利用の時期をずらしながら森林資源を持続的に活用してきた里山林の利用履歴を反映していることを示唆する。このようなブナ二次林の存在は、豪雪環境下の里山に特徴的な植生景観の一つと位置づけられる。</p> <p>江戸時代後期には、本地が割山に区分されていたことや、炭焼き窯跡が確認されることから、このブナ林が生活・生業を支える薪炭資源として利用されていたことがうかがえる。また、標高約 500 m 付近の岩上には祠が設けられており、ブナ林が薪炭利用にとどまらず、信仰的・精神的な意味合いをもつ場としても認識されていた可能性が示唆される。</p> | | | |
| 写真 | | 位置図 | |
|  | |  | |

| | | | |
|---|--|--|--|
| 番号 | D-21 | 指定等 | |
| 名称 | 集落全体（追分～三の鳥居まで） | | |
| 所在地 | 飯山市大字瑞穂 | | |
| 所有者 | 市・小菅区・宗教法人・個人 | | |
| 保存対象 | ・修験信仰を背景とした農村集落の空間 | | |
| 現状変更及び 保存に影響を 及ぼす行為 | <ul style="list-style-type: none"> ・工作物の新築、除却 ・土地の掘削、盛土、切土 | | |
| 概要・価値 | | | |
| <p>小菅集落は、民家と小菅山の信仰遺産である宗教建築が融合しながら形成されている。</p> <p>信仰の根源である小菅神社奥社の水源を大切にしながら、下流する水をため池に集めて生業・生活用水として利用している。農地や民家に残る石垣は宗教地域という歴史的背景のもとに集落が営まれたことを物語る。</p> | | | |
| 写真 | | 位置図 | |
|  | |  | |

文化的景観保護推進事業
重要文化的景観「小菅の里及び小菅山の文化的景観」
保存活用計画

| | | |
|-------|---|--|
| 発 | 行 | 令和8(2026)年5月 |
| 編集・発行 | | 長野県飯山市教育委員会 文化振興部 市民学習支援課 文化財係 長野県飯山市大字飯山1434番地1 |
| 印 | 刷 | フジマキフォトクリエイティブ 長野県飯山市南町28-1 丸山ビル2F |